



学校法人片柳学園

大学でも専門学校でも  
片柳学園なら  
多彩な進路が選べる!

学校法人 片柳学園  
日本工学院専門学校 校友会誌

発行・令和4年8月31日

No.57

# ゆまた

## 東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎ 0120-444-925  
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-903  
<https://www.teu.ac.jp/>



### 蒲田キャンパス

**デザイン学部** // ●視覚デザイン専攻 ●工業デザイン専攻

### 医療保健学部

●リハビリテーション学科  
 言語聴覚学専攻 / 理学療法学専攻 / 作業療法学専攻  
 ●看護学科 ●臨床工学科 ●臨床検査学科

**大学院** // ●デザイン研究科 ●医療技術学研究科



### 八王子キャンパス

**工学部** // ●機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科

**コンピュータサイエンス学部** // ●人工知能専攻 ●先進情報専攻  
**応用生物学部** // ●生命科学・医薬品専攻 ●食品・化粧品専攻

### メディア学部

**大学院** // ●工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科



東京工科大学で学ぶ  
 (学士)取得

日本工学院から  
 東京工科大学へ編入  
 (専門士)+(学士)取得

日本工学院で学ぶ  
 (専門士)(高度専門士)取得



### クリエイターズカレッジ

放送芸術科\*  
 声優・演劇科\*  
 演劇スタッフ科\*\*  
 マンガ・アニメーション科4年制◆\*\*  
 マンガ・アニメーション科\*

### デザインカレッジ

ゲームクリエイター科4年制◆\*\*  
 ゲームクリエイター科\*  
 CG映像科(3年制)\*  
 デザイン科(3年制)\*  
 グラフィックデザイン/イラストレーション/  
 インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻

### ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科\*  
 プレイヤー/ヴォーカリスト/  
 サウンドクリエイターコース  
 コンサート・イベント科\*  
 音響芸術科\*  
 ダンスパフォーマンス科\*\*

### ITカレッジ

ITスペシャリスト科(4年制)◆\*\*  
 AIシステム科  
 情報処理科\*  
 ネットワークセキュリティ科\*  
 情報ビジネス科\*  
 秘書・事務/eビジネス/ホテル・観光●コース

### テクノロジーカレッジ

ロボット科●\*  
 電子・電気科\*  
 一級自動車整備科(4年制)◆◆\*\*  
 自動車整備科●\*  
 応用生物学科●\*  
 建築学科(4年制)◆◆\*\*  
 建築設計科\*  
 土木・造園科●\*  
 機械設計科\*

### スポーツ・医療カレッジ

スポーツトレーナー科3年制●\*  
 スポーツトレーナー科●\*  
 スポーツ健康学科3年制●\*  
 スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
 サッカー/テニスコース  
 スポーツ健康学科●\*  
 スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
 サッカー/テニスコース  
 鍼灸科(3年制)●\*  
 柔道整復科(3年制)●\*  
 医療事務科●\*

\*職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり \*\*高度専門士付与学科  
 ●日本工学院専門学校のみ設置 ●日本工学院八王子専門学校のみ設置



## 日本工学院

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎ 0120-123-351  
 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-700  
<https://www.neec.ac.jp/> 姉妹校：日本工学院北海道専門学校



## 表紙のことは

### 「蒲田校キャンパス」 1978(昭和53)年

蒲田校の図書館前広場の中央に丸い池を造ることになり、私は以前ローマで訪れたトレビの泉を思い起こして、池の設計にあたりました。円形の池の中央部に二段の滝を造り、その中央の上段にブロンズの人物像を置き、中段と下段に石を積み重ねて、石積の合間に人物像を配置するという構想を立てました。プランが決まったら、まず現場に簡単な模型を造って試作し、計画通りにできることを確認。ブロンズ像の制作は、文化勲章を受章された円鏝先生にお願いし、全体の施工については図書館棟を建設した業者に依頼することにしました。

石の購入については、忘れることのできない程、怖ろしい思いをした記憶があります。石の採取は水害に影響するため、川原では取ることが禁じられ、指定された一定の場所でのみ採取が許されています。私も念のため現場に石を見に行くことになりました。まず、車で浜松市より佐久間ダム方面に向かい、途中、南アルプス方面に右折。険しく危険な山道を登り、山の中腹の現場に辿り着いて石を見た後の帰りは伊那を経由して中央高速に乗り、やっとの思いで家に帰ることができました。家に着いてから一日を振り返ると、身の危険を感じたことが度々あり、よく無事に帰ることができたと、寒気がする程の強烈な思い出となった次第です。

モニュメントの題名は「希望」としました。完成後、池の中に硬貨がたくさん投げ入れられているのを見ましたが、皆トレビの泉を思い、願いを込めて投げたのではないかと思っています。



表紙口絵：創立者(故人)  
片柳 鴻

## Contents

表紙のことは 創立者 片柳 鴻	表2	令和4年3月 教職員退職者報告	43
校友会会長 桂田 忠明	1	教員・講師募集のご案内	43
日本工学院専門学校 理事長・校長 千葉 茂	2	会員専用Webサービスご利用の手引き	44
校友会事務局からのお知らせ	3	校友会Facebookのご案内	45
校友会だより		ソーシャルメディアポリシー	46
第33回通常総会報告	4	「校友会ラウンジ」利用規定	47
先生から一言 学科から卒業生へ	21	かまた題字作家紹介	48
日本工学院ニュース		個人情報保護についての取組み	48
令和3年度 卒業証書授与式	32	入学金免除制度	49
令和4年度 入学式	33	～会員近況メッセージ～ お元気ですか?	50
第51回 体育祭	34	「再入学優遇制度」のお知らせ	67
第55回 「かまた祭」のお知らせ	35	「教育訓練給付金」のお知らせ	68
2021年度 企業奨学金授与式	36	「若きつくりびと奨学金」のお知らせ	69
写真でみる 校舎の変遷	37	学校法人片柳学園 各学校のご案内	表4
蒲田校 学科の変遷	38		
キャリアサポートセンターからの報告	42		

## Message



### 『創立者片柳鴻先生之像』建立一年を迎えて

校友会会長  
桂田 忠明

放送技術部・昭和36年卒業  
セントラル電子制御株式会社・最高顧問

校友会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度から校友会の活動が中止となって既に2年以上が経過いたしました。いまだ収束に向かっていない現状を鑑み、今年度も通常総会、支部総会など校友会に関わる活動を中止することいたしました。参加される皆様の安心安全を第一に考え、今年こそはと開催を心待ちにされていた皆様には申し訳ございませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、蒲田キャンパス3号館エントランスに片柳学園・日本工学院専門学校創立者かつ当校友会の名誉顧問でもありました片柳鴻先生の胸像が建立され一年が経ちました。2021年7月10日の除幕の様子は昨年「かまた」臨時特別号で紹介いたしました。その日から蒲田に集う学生たちを片柳先生が見守ってくださっているように思えます。

この『創立者片柳鴻先生之像』は、片柳先生の私たち卒業生に対する熱い思い、そして当校友会に対する多大なご支援に感謝の意を表すべく、かねてより創立60周年、70周年などの記念事業として校友会から片柳学園への寄贈を提案してきたものでした。しかし、この提案に対し片柳先生からの回答は毎回「ありがたい話ではあるが、まだ早い。」といった内容でした。

2019年8月15日の片柳先生の突然の訃報は私たち卒業生にとって大変心を痛めるものでした。片柳先生は私たち学生に父親のように接してくださり、どうやって私たちに幸せにするかという事が常に頭にあったのではないかとと思うくらい、先端の更にもその先を見越した教育を施してくださいました。そのおかげで日々の授業を通して最新の技術や深い知識を学び、多くの学生が社会へはばたくことが出来ました。

いつも「将来、この学校を卒業したことを、胸を張って言えるような学校にする」と先生は仰っていました。それがまさしく現在の学園の姿であると感じています。

多くの卒業生が片柳先生へ感謝の想いを抱いており、三回忌を前に校友会として再び片柳学園に胸像寄贈の提案を行い、制作が進められる運びとなりました。

制作途中の胸像を確認するため、富山県高岡市にある(株)竹中銅器と胸像の原型を担当いただいた熊谷友児先生の工房へ伺いましたが、優しくあたたかい眼差しはご生前の面影そのままでした。

コロナ禍の影響でなかなか学園へ足を運ぶこともままならない今日この頃ですが、収束した折には皆さんにも是非一目『創立者片柳鴻先生之像』をご覧いただきたいと思っております。必ずやその姿に、学園の父親が私たちを出迎えてくれているという感想と共に、学生時代の思い出が心の中に再現されるものと思っております。

校友会は今年で55年という長い歴史を経て、海外を含めて全42支部、16万人を超える卒業生を会員とする大きな組織となりました。

この度の『創立者片柳鴻先生之像』建立を機に、片柳先生の想いを大勢の卒業生とともに後輩たちにも引き継いでいきたいと思っております。

## 校友会事務局からのお知らせ

日本工学院専門学校校友会では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2020年度、2021年度と活動や行事をすべて中止してまいりました。

2022年度においては、医療提供体制の強化、ワクチン接種率の増加、政府・都道府県による規制緩和などの要因もあり活動再開を検討いたしましたが、いまだ収まりきらないコロナ感染症の状況により、新規感染者数はピーク時に比べて減少傾向にあるといえども収まったというわけではなく、安全対策、さらに感染拡大防止の「密」対策を万全に実施することが困難であることなどから、学校とも協議を重ね、引き続き今年度も中止とさせていただきます。

例年、支部総会や懇親会、同窓会など各イベントを楽しみにされております会員の皆さんには申し訳ございませんがご理解のほどお願いいたします。

皆様と笑顔で再会できる日を楽しみにしております。



## 「蒲田校友会誌(2022年度)に向けて」

学校法人片柳学園 理事長  
日本工学院専門学校 校長  
千葉 茂

校友会員の皆様こんにちは。

日本工学院専門学校校友会も今年で創立55年目を迎えましたこと、大変嬉しく思います。卒業生数も約16万人、設置校すべて合わせますと、約28万人にも及びます。

相変わらずのコロナ禍ですが、少しずつ人々の交流も復活の兆しが、見えて参りました。通常総会も本年も延期となり、皆様ご一同で集まることは未だ厳しい状況ではございますが、いずれは八王子校、北海道校の各設置校の校友会皆様との交流なども視野に入れ、片柳学園全体の校友会が発展して行くことを願っております。

新型コロナウイルス、ウクライナ情勢等、世界経済は大きな打撃を受けております。しかし、そのような中でも私たち人類は常に歩み続けています。また、私たちの生活環境も大きく変化しましたが、学園は学生の学修を止めることなく、実践力を身に付けられるよう対面授業を注意深く実施しております。

私は常日頃、社会は改善せずにはいられない人たちによって、構成されていると話しておりますが、見渡すと身近にあるすべてのものが、10年前とは大きく変わっていることに気付かされます。まるで動く歩道に乗っているかのように、自分は何もしなくとも周囲の環境は刻々と進化しているのです。

本学園は、「学生第一主義」を掲げ、「若者の持つ夢や希望を技術という生きる力に育み、豊かな未来創造に寄与する」をミッションとし、教職員が一丸となって、学生一人一人をサポートしております。

教職員一同、今後も尽力をして参りますので、卒業生の皆様にはご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。また、後輩採用に関しまして、引き続きサポートをお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

# 通常総会報告

毎年6月に開催している日本工学院専門学校校友会通常総会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度、2021年度は中止となり、2022年度は集合形式での開催は中止とし書面審議により実施いたしました。

代議員の方々には、2019年度の事業報告・決算報告から2022年度の事業計画と予算案、会則の改正、役員を選任など11の議案について書面にてお諮りいただき、7月6日までに38通(全代議員数42名)が返信され、下記の通りすべての議案が可決、承認されましたことをご報告申し上げます。

## 経緯

- 2020年6月24日に開催した「2020年度第1回校友会常任幹事会」にて、「第31回通常総会」を含む2020年度のすべての校友会活動を中止することが決定された。
- 2021年4月27日にオンラインで開催した「2021年度第1回校友会常任幹事会」にて、「第32回通常総会」を含む2021年度の校友会活動の延期が決定された。地区支部長会は感染症の情勢を見ながら開催の判断をすることになっていたが、結果的にすべての行事・活動が中止となった。
- 2022年5月10日にオンラインで開催した「2022年度第1回校友会常任幹事会」にて、以下のよう決定された。
  - ① 「第33回通常総会」は書面審議により実施する(対面での開催はせず、書面にて総会決議事項の賛否を問う)
  - ② 「支部総会・懇親会」「地区支部長会議」は今年度内の開催は中止とする

### 第33回 通常総会 審議議案(書面決議)

- 【第1号議案】 2019年度事業報告
- 【第2号議案】 2019年度収支決算報告および監査報告
- 【第3号議案】 2020年度事業報告
- 【第4号議案】 2020年度収支決算報告および監査報告
- 【第5号議案】 2021年度事業報告
- 【第6号議案】 2021年度収支決算報告および監査報告
- 【第7号議案】 2022年度事業計画
- 【第8号議案】 2022年度収支予算案
- 【第9号議案】 校友会会則の改正について
- 【第10号議案】 役員選任について
- 【第11号議案】 その他

## 承認事項の詳細

### 【第1号議案】 2019年度事業報告

1. 校友会誌および校友会のしおり発行
2. 通常総会・支部会員の集い・会員の集いの開催
  - 1) 第30回通常総会 於：日本工学院専門学校 開催日：2019年6月8日(土)
  - 2) 支部会員の集いについて
  - 3) 地区支部長会議の開催と報告
  - 4) 会員の集い(同窓会・新イベント)などの開催と報告
3. その他
  - 1) 校友会教職員会について
  - 2) 卒業展におけるブース設置について
  - 3) 2019年度「校友会会長賞」について

### 【第2号議案】 2019年(平成31年・令和元年)度収支決算報告および監査報告

1. 2019年(平成31年・令和元年)度収支決算報告
2. 収入科目、支出科目補足説明
3. 監査報告

### 【第3号議案】 2020年度事業報告

1. 校友会誌および校友会のしおり発行
  - 1) 「かまた」誌(No.56)の発行 (2020年7月末日発行)
  - 2) 2020年度卒業生配布「校友会のしおり」の発行(2021年3月発行)
2. 2020年度「校友会会長賞」について

### 【第4号議案】 2020年(令和2年)度収支決算報告および監査報告

1. 2020年(令和2年)度収支決算報告
2. 収入科目、支出科目補足説明
3. 監査報告

### 【第5号議案】 2021年度事業報告

1. 片柳鴻前理事長の胸像を製作、片柳学園へ寄贈について
 

2021年7月10日(土) 常任幹事、学校関係者のみで除幕式を挙行
2. 校友会誌および校友会のしおり発行
  - 1) 「かまた 臨時特別号(全4ページ)」の発行(2021年8月末日発行)
  - 2) 2021年度卒業生配布「校友会のしおり」の発行(2022年3月発行)

● 校友会だより

3. 2021年度「校友会会長賞」について

【第6号議案】 2021年(令和3年)度収支決算報告および監査報告

1. 2021年(令和3年)度収支決算報告
2. 収入科目、支出科目補足説明
3. 監査報告

【第7号議案】 2022年度 事業計画

1. 校友会誌および校友会のしおりの発行
  - 1) 「かまた」誌(No.57号)の発行(2022年8月末日発行予定)
  - 2) 2022年度卒業生配布「校友会のしおり」の発行(2023年3月発行予定)
  - 3) 卒業証書授与式での顕彰(2022年度「校友会会長賞」について)
  - 4) イベントの開催(各種オンラインイベントの開催)について

【第8号議案】 2022年度 収支予算案

1. 2022年度(令和4年)収支予算案
2. 収入科目、支出科目補足説明

【第9号議案】 校友会会則の改正について

1. 「日本工学院専門学校校友会会則」改正
2. 「日本工学院専門学校校友会 支部規定」改正
3. 「顧問の委嘱に関する細則」改正
4. 「日本工学院専門学校校友会 役員の選出に関する細則」改正
5. 「日本工学院専門学校校友会 弔慰規程」改正

【第10号議案】 役員改選について

【第11号議案】 その他

1. 次回代議員会(通常総会)の日程について  
第34回通常総会は、2023年6月10日(土)に予定する。

以上

各議案の補足資料

● 2019年度「校友会会長賞」受賞者【第1号議案-3-3】

カレッジ	氏名	学科	授賞理由
クリエイターズ	堤 大真	マンガ・アニメーション科四年制	ACT(学生委員会)の中心人物として活躍
デザイン	澤上 香織	インテリアデザイン科	インテリアコーディネーター資格取得、産学連携課題採用、ミサワリフォーム内定
ミュージック	小林 誠	コンサート・イベント科	皆勤、成績学科内トップ、東芸エンタテインメント内定
IT	チーム Automatic Sunny Side Up	ITスペシャリスト科	卒業展優秀作品賞
テクノロジー	CHEN BOREN (留学生)	電子・電気科	皆勤、成績優秀、第1級陸上無線技術士取得(1年次)
医療・保育	栗城 清夏	医療事務科	日本医療秘書学会第17回学術大会において一般演題を発表

● 2020年度「校友会会長賞」受賞者【第3号議案-2】

カレッジ	氏名	学科	授賞理由
クリエイターズ	光田 早希	演劇スタッフ科	成績・出席ともに優秀、授業・実習に積極的に取り組んだ
デザイン	佐野 ひかる	グラフィックデザイン科	企業課題・アースフレンズ東京ZのTシャツのデザイン採用、他
ミュージック	榎根本 真奈	ミュージックアーティスト科	所属事務所決定
IT	岩本 宗治郎	ITスペシャリスト科	スマホによる日本語入力方式の開発
テクノロジー	井筒 俊樹	電子・電気科	成績優秀、出席良好、第三種電気主任技術者と第一級陸上無線技術士を取得
医療・保育	栗城 清夏	診療情報管理士専攻科	日本医療秘書学会学術大会において筆頭者として演題発表、論文提出

● 2021年度「校友会会長賞」受賞者【第5号議案-3】

カレッジ	氏名	学科	授賞理由
クリエイターズ	青木ブトウ龍也	マンガ・アニメーション科	出席・成績良好、有名ゲーム会社内定
デザイン	谷田 真理子	CG映像科	提携企業に内定、他学生に比べ率先して学ぶ力があるため
ミュージック	新田 木の香	コンサート・イベント科	成績・出席ともに優秀、実習では学年全体をまとめ周囲からも信頼が厚い。舞台監督への就職も決めた
IT	チーム「空気見えるくん」	ITスペシャリスト科	卒業展の優秀作品チーム
テクノロジー	柳生 将太	建築学科	2022年技能五輪国際大会(上海)日本代表

● 校友会だより

● 2019年(平成31年・令和元年)度収支決算報告書【第2号議案】

2019年(平成31年)4月1日～2020年(令和2年)3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前年度繰越金	81,974,648	会誌「かまた」等制作費	13,525,174
校友会会費	36,060,000	総会諸費用	2,333,364
会誌「かまた」広告料	930,000	地区支部長会議諸経費	736,190
受取利息	24	支部事業費	6,906,913
雑収入	53,205	イベント事業費	2,239,567
		準会員支援費	126,632
		ウェブサイト経費	1,671,840
		事務管理費	757,866
		人件費	0
		予備費	1,461,396
		当期支出計	29,758,942
		次年度繰越金	89,258,935
収入の部計	<b>119,017,877</b>	支出の部計	<b>119,017,877</b>

● 2020年(令和2年)度収支決算報告書【第4号議案】

2020年(令和2年)4月1日～2021年(令和3年)3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前年度繰越金	89,258,935	会誌「かまた」等制作費	15,726,582
校友会会費	32,952,000	総会諸費用	9,330
会誌「かまた」広告料	610,000	地区支部長会議諸経費	0
受取利息	25	支部事業費	171,600
雑収入	51,326	イベント事業費	3,920
		準会員支援費	125,928
		ウェブサイト経費	1,702,800
		事務管理費	432,933
		人件費	0
		予備費	0
		当期支出計	18,173,093
		次年度繰越金	104,699,193
収入の部計	<b>122,872,286</b>	支出の部計	<b>122,872,286</b>

● 2021年(令和3年)度収支決算報告書【第6号議案】

2021年(令和3年)4月1日～2022年(令和4年)3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前年度繰越金	104,699,193	会誌「かまた」等制作費	8,319,182
校友会会費	34,716,000	総会諸費用	0
会誌「かまた」広告料	0	地区支部長会議諸経費	0
受取利息	24	支部事業費	0
雑収入	42,734	イベント事業費	8,475,324
		準会員支援費	105,050
		ウェブサイト経費	1,702,800
		事務管理費	438,823
		人件費	0
		予備費	3,672,900
		当期支出計	22,714,079
		次年度繰越金	116,743,872
収入の部計	<b>139,457,951</b>	支出の部計	<b>139,457,951</b>

● 2022年度(令和4年)収支予算案【第8号議案】

2022年(令和4年)4月1日～2023年(令和5年)3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前年度繰越金	116,743,872	会誌「かまた」等制作費	15,650,000
校友会会費	31,413,600	総会諸費用	0
会誌「かまた」広告料	0	地区支部長会議諸経費	0
受取利息	0	支部事業費	0
雑収入	0	イベント事業費	100,000
		準会員支援費	150,000
		ウェブサイト経費	2,000,000
		事務管理費	1,120,000
		人件費	4,130,000
		予備費	500,000
		当期支出計	23,650,000
		次年度繰越金	124,507,472
収入の部計	<b>148,157,472</b>	支出の部計	<b>148,157,472</b>

● 日本工学院専門学校校友会会則【第9号議案一】

日本工学院専門学校校友会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、学校法人片柳学園 日本工学院専門学校校友会と呼称する。

(本部)

第2条 本会は、本部を学校法人片柳学園 日本工学院専門学校内に置く。

(支部)

第3条 本会の目的遂行のために支部を設置することができる。ただし、支部に関する規定は別に定める。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、会員相互の親睦、研鑽を図り、教育・学術・文化の発展に寄与するとともに、学校法人片柳学園 日本工学院専門学校と緊密に連繋を保持し、その発展に協力することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 会員の親睦に関する事業
2. 学術・文化に関する講演会、見学会及び研修会等の開催
3. 会誌「かまた」、ホームページ等による情報発信
4. 在校生に対する支援
5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員及び会費

(会員の種別)

第6条 本会の会員は、次のとおり定める。

1. 正会員
2. 準会員
3. 特別会員
4. 賛助会員
5. 名誉会員

(会員の資格)

第7条 本会の会員の資格は、次のとおり定める。

1. 正会員は、日本工学院専門学校又は前身校を卒業した者で、校友会会費を納入した者、及び日本工学院専門学校又は前身校に在籍し、校友会会費を納入した者で、役員会において承認された者とする。
2. 準会員は、日本工学院専門学校の在校生で校友会会費を納入した者とする。

3. 特別会員は、日本工学院専門学校の教職員及び教職員であった者。
4. 賛助会員は、本会の目的に賛同し、役員会において承認され賛助会員会費を納入した者、又は団体とする。
5. 名誉会員は代議員会により推薦された者とする。

(姉妹校卒業生の支部事業参加)

第8条 学校法人片柳学園が設置する姉妹校の卒業生は、本会及び支部が主催する事業に参加することができる。

(会費)

第9条 本会の会費は、次のとおりとする。

1. 終身会費 12,000円
2. 賛助会員会費 年額12,000円を1口とし、1口以上とする。

(会費の返還)

第10条 既納の会費は、理由のいかんを問わず返還しない。

(会員の資格の喪失)

第11条 会員は、次の理由によって資格を失う。

1. 会員が死亡した場合
2. 本会の目的に違反した者
3. 本会及び日本工学院専門学校の名譽を傷つけた者
4. 退会届を会長に提出し認められた者

第4章 代議員及び役員

(代議員)

第12条 本会には、代議員を置くものとする。

(役員)

第13条 本会には、次の役員を置く。

1. 会長……………1名
2. 副会長……………5名以内
3. 幹事……………15名以内  
ア.常任幹事……8名以内  
イ.地区幹事……5名  
ウ.会計幹事……2名
4. 会計監査……………2名

(役員及び代議員の選出)

第14条 役員及び代議員の選出は、次のとおりとする。

1. 代議員は、支部長又は支部長が指名した副支部長とする。
2. 役員は、代議員会で会員の中から選出する。
3. 役員の選出方法については、細則で定める。
4. 役員及び代議員は、再任を妨げない。

## ● 校友会だより

(役員及び代議員の職務)

第15条 役員及び代議員の職務は、次のとおりとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代行する。
3. 代議員は、この会則の定めるところにより、その職務を行うものとし、代議員会に出席し会務に必要な事項について審議する。
4. 常任幹事は、本会の運営並びに会誌制作に関する事項を担当する。
5. 地区幹事は、地区内各支部をとりまとめ、地区幹事会の運営を担当する。
6. 会計幹事は、本会の会計一切を担当する。
7. 会計監査は、本会の収支と財産の状況を監査する。

(役員及び代議員の任期)

第16条 役員及び代議員の任期は、次のとおりとする。

1. 役員及び代議員の任期は、2年とする。
2. 任期満了後でも後任者が就任するまでは、任期を延長する。

(役員、代議員の報酬)

第17条 役員及び代議員は無報酬とする。

(顧問)

第18条 顧問は、次のとおりとする。

1. 本会に顧問若干名をおくことができる。
2. 顧問は、本会の目的達成に関する事項について会長の諮問に応ずると共に役員会、代議員会に出席し意見を述べることができる。
3. 顧問は、本会に功労のあった者のうちから、会長が代議員会の承認を経て委嘱する。

## 第5章 事務局

(事務局の設置)

第19条 本会には、事務を処理するために、事務局を設置する。

(事務の委託)

第20条 本会の事務を、学校法人片柳学園に委託することができる。

## 第6章 会議

(会議の種類)

第21条 本会の会議は役員会、常任幹事会、代議員会とし、会長がこれらを招集する。

(役員会の開催)

第22条 役員会の開催は、次のとおりとする。

1. 役員会は、年 1 回以上開催する。ただし、役員 3 分の1以上から会議の目的事項を示し、開催請求がなされたときは、役員会を開催しなければならない。
2. 役員会は、役員現在数の過半数の出席がなければ、議事を開き議決することができ

ない。ただし、当該議事について、あらかじめ書面により意思を表示した者は出席とみなす。

3. 役員会の議長は、会長が務める。

(役員会の議決事項)

第23条 役員会は、次の事項を議決する。

1. 支部の設置及び廃止
2. 正会員、賛助会員の承認
3. 第11条2項及び3項に関する事項
4. その他、本会の運営に関する事項

(常任幹事会の開催)

第24条 常任幹事会の開催は、次のとおりとする。

1. 常任幹事会は、年 1 回以上開催する。ただし、常任幹事の 3 分の1以上から会議の目的事項を示し、開催請求がなされたときは、常任幹事会を開催しなければならない。
2. 常任幹事会は、役員現在数の過半数の出席がなければ、議事を開き議決することができない。ただし、当該議事について、あらかじめ書面により意思を表示した者は出席とみなす。
3. 常任幹事会の議長は、会長が務める。

(常任幹事会の議決事項)

第25条 常任幹事会は、本会の運営並びに会誌制作に関する事項を議決する。

(代議員会の開催)

第26条 代議員会の開催は、次のとおりとする。

1. 代議員会は、年1回開催しなければならない。ただし、代議員の3分の1以上から会議の目的事項を示し、開催請求がなされたときは、臨時に代議員会を開催しなければならない。
2. 代議員会の招集は、少なくとも10日以前に、その会議に付議すべき事項、日時及び場所を記載した書面、又は会誌をもって通知しなければならない。
3. 代議員会の議長は出席者のうちから選出する。

(代議員会の成立)

第27条 代議員会の成立及び議決は次のとおりとする。

1. 代議員会は、代議員現在数の過半数の出席がなければ、議事を開き議決することができない。ただし、当該議事について、予め書面により意志を表示した者は、出席とみなす。
2. 代議員会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(代議員会の議決事項)

第28条 代議員会は、次の事項を議決する。

1. 事業計画及び収支予算
2. 事業報告及び収支決算

3. 財産目録に関する事項
4. 役員、顧問の選出、及び名誉会員の承認
5. 会則等の改正及び細則等の制定
6. その他、本会の運営に関する事項

(代議員会議決事項の周知)

第29条 代議員会議事の概要及び議決事項は、会誌及びホームページ等により会員に周知する。

(議事録の作成)

第30条 役員会及び代議員会の議事は、議事録を作成し、議長及び指名された議事録署名人2名以上が捺印のうえ、これを保存する。

(役員会等への出席諸経費)

第31条 本会の役員、支部長が役員会、代議員会等への出席のために要した旅費、宿泊費は、本会が負う。

## 第7章 財産及び会計

(財産)

第32条 本会の財産は、次のとおりとする。

1. 会費
2. 財産目録記載の財産
3. 事業に伴う収入
4. 財産から生じる果実
5. 寄付金品
6. その他

(会費の徴収及び財産の管理)

第33条 本会の会費の徴収及び財産の管理は、次のとおりとする。

1. 会費の徴収は、学校法人片柳学園に委託することができる。
2. 本会の財産の管理を、学校法人片柳学園に委託することができる。ただし、現金は役員会の議決に基づき普通預金および定期預金として預金する。

(事業計画及び予算の作成)

第34条 本会の事業計画、及びこれに伴う収支予算は、毎会計年度開始以前に作成し、役員会の議を経て代議員会の承認を得なければならない。

(決算)

第35条 本会の収支決算は、毎会計年度終了後決算書を作成し、会計監査の意見を添え、役員会の議を経て、代議員会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第36条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終る。

## 第8章 会則の変更並びに解散

(会則の変更)

第37条 この会則の変更は、代議員会において、出席者の4分の3以上の議決を経なければならない。

(会の解散)

第38条 本会の解散は、代議員会において、出席者の4分の3以上の議決を経なければならない。

(残余財産の処分)

第39条 本会の解散に伴う残余財産は、代議員会において、出席者の4分の3以上の議決を経て、学校法人片柳学園 日本工学院専門学校に寄付する。

## 第9章 補則

(施行細則)

第40条 この会則についての細則は、役員会、代議員会の議決を経て別に定める。

附 則

1. この会則は、昭和 42年4月 1日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 2年4月 1日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 6年4月 1日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 6年6月11日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 7年6月10日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 8年6月 8日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 9年6月14日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 14年6月 8日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 18年6月10日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 20年6月14日から施行する。

附 則

1. この会則は、平成 21年6月13日から施行する。

附 則

1. この会則は、令和 4年7月 5日から施行する。

● 校友会だより

● 日本工学院専門学校校友会会則支部規定【第9号議案—2】

日本工学院専門学校校友会会則支部規定

第1条 日本工学院専門学校校友会会則第3条により、支部に関する規定を以下に定める。

第2条 支部の設置については、次のとおりとする。

1. 都道府県単位とし、当該地域内に在住または勤務する会員で構成する。  
ただし、複数地域をもって構成することができる。
2. 支部内に部会を設置することができる。
3. 支部を設置する場合は、本会役員会の承認を経なければならない。

第3条 1. 支部会費は支部の実情に応じて徴収することができる。  
2. 事務諸経費は本会が負う。

第4条 支部には、次の役員を置くことができる。

1. 支部長
2. 副支部長
3. 幹事
4. 会計
5. 会計監査
6. 顧問

第5条 支部役員会の開催は、次のとおりとする。

1. 支部役員会は、年1回以上開催する。
2. 支部役員会は、支部長が招集する。
3. 支部役員会の議長は、支部長が務める。

第6条 支部の役員及び支部連絡事務所に変更が生じた場合、並びに支部の事業等について、本会事務局に報告しなければならない。

第7条 支部会則については、本会会則並びに本規定に基づき、支部ごとに定める。

附 則

1. この規定は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

1. この規定は、令和4年7月5日から施行する。

● 顧問の委嘱に関する細則【第9号議案—3】

顧問の委嘱に関する細則

第1条 顧問は、次の基準に該当する者で、本会顧問に相応しい者を委嘱する。

1. 会長又は副会長であった者
2. 常任幹事又は会計幹事を4期以上務めた者
3. 学識経験者又は日本工学院専門学校の教職員で、本会の運営に貢献された者
4. 特別会員で、本会の運営に貢献された者

第2条 顧問の任期は、終身とする。

附 則

1. この細則は平成 8年6月 8日制定から施行する。

附 則

1. この細則は平成20年6月14日制定から施行する。

附 則

1. この細則は令和 4年7月 5日制定から施行する。

● 日本工学院専門学校校友会役員選出に関する細則【第9号議案—4】

日本工学院専門学校校友会役員選出に関する細則

第1条 日本工学院専門学校校友会会則第14条3項に基づき、役員を選出に関する細則を定める。

第2条 会長は、各支部長、各副支部長又は正会員の内から、代議員会で選任する。

第3条 副会長は、各支部長、各副支部長又は正会員の内から、前条で選出された会長が推薦する者を代議員会で選任する。

第4条 常任幹事は、首都圏支部長、同副支部長及び日本工学院専門学校教職員ならびに第2条で選出された会長が推薦するものを、代議員会で選任する。

第5条 地区幹事は、首都圏を除く全国を5地区(別表)に分け、それぞれの地区の支部長の合議により、支部長のうちから各1名を選任する。

第6条 会計幹事は、第2条で選出された会長が推薦するものを、代議員会で選任する。

第7条 会計監査は、各支部長及び副支部長のうちから、代議員会で選任する。

第8条 役員に欠員が生じた際は、すみやかに後任者を選任する。

第9条 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

附 則

1. この細則は平成 7年6月10日から施行する。

附 則

1. この細則は平成20年6月14日から施行する。

附 則

1. この細則は令和 4年7月 5日制定から施行する。

地区名	支部名
北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東・甲信越・海外	茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県、韓国、台湾
東海・北陸	富山県、石川県、福井県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県
近畿・中国・四国	京・滋、近畿、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡・佐賀、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
首都圏	首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）

令和4年6月現在 国内40支部 海外2支部

● 日本工学院専門学校校友会弔慰規定【第9号議案—5】

日本工学院専門学校校友会弔慰規定

(目的)

第1条 この規定は、日本工学院専門学校校友会役員又はその家族が死亡した際の弔慰金、献花等について定める。

(対象となる役員)

第2条 この規定を適用する校友会役員は、次による。

1. 会長、副会長
2. 常任幹事、地区幹事、会計幹事
3. 会計監査
4. 支部長、副支部長
5. 顧問
6. 事務局職員

(本人死亡の弔慰金)

第3条 前条で定めた校友会役員が死亡したときは、3万円の弔慰金を遺族に対し贈る。

弔慰金の贈主名は、校友会会長とする。ただし、会長が死亡したときは、副会長名とする。

(本人死亡の献花等)

第4条 第2条で定めた校友会役員が死亡したときは、生花(又は花輪)及び弔電を贈る。

献花及び弔電の贈主名は校友会会長とする。ただし、会長が死亡したときは副会長名とする。

(家族死亡の場合献花等)

第5条 第2条で定めた校友会役員配偶者又は子が死亡したときは、生花(又は花輪)及び弔電を贈る。献花・弔電の贈主名は校友会会長とする。ただし、会長の家族が死亡したときは副会長名とする。

(訃報の連絡)

第6条 本規定に該当する訃報は、次の事項を添えメールあるいはFAX等により速やかに校友会事務局宛に連絡する。

1. 氏名、年齢
2. 死亡日時、死因
3. 喪主名及び校友会役員との関係
4. 通夜の日時、場所(電話番号)
5. 葬儀、告別式の日時、場所(電話番号)
6. 仏式、神式、キリスト教式の別
7. 取扱生花店が指定されている場合は、その店名、電話番号
8. 連絡者名

(回報)

第7条 前条の連絡を受けた際、校友会事務局は、会長(会長の訃報に関しては副会長)に報告し、対応方の承認を得る。校友会事務局では、関係が深いと考えられる校友会役員に当該訃報を回報する。

(報告)

第8条 本規定による対応を行った場合は、常任幹事会及び代議員会に報告する。

(黙 禱)

第9条 第2条で定めた校友会役員が死亡したときは、代議員会において黙禱を捧げる。

(経 費)

第10条 本規定により生じた経費は、校友会運営予算から支出する。

附 則

1. この細則は平成11年6月12日から施行する。

附 則

1. この細則は令和 4年7月 5日制定から施行する。

● 校友会だより

● 役員の改選について【第10号議案】

1. “日本工学院専門学校校友会会則”第13条「役員」及び第16条「役員及び代議員の任期」により、以下の方々が退任、選出された。(敬称略)

1) 会長 再任：桂田 忠明

2) 副会長 退任：野里 和弘 (2019年9月退任届受理)  
再任：植木 敏郎、奥川 宏、清田 茂信

3) 幹事

ア) 常任幹事 退任：工藤 俊一郎(2022年5月ご逝去)  
遠山 一明(2022年4月東京工科大学へ異動)  
只埜 洋樹(2019年8月東京工科大学附属日本語学校へ異動)  
再任：廣瀬 憲治、平川 進、佐藤 充  
新任：鈴木 啓利(会長決裁により首都圏支部 副支部長 就任)  
鈴江 敬太(会長決裁により首都圏支部 副支部長 就任)  
今泉 剛 (教育・学生支援部 部長)  
大塚 勝哉(教育・学生支援部 学生課 課長)

イ) 地区幹事 北海道・東北 再任：阿部 富美雄  
関東・甲信越・海外 再任：峯村 理雄  
東海・北陸 再任：石黒 明  
近畿・中国・四国 退任：吉村 哲正(2020年8月ご逝去)  
新任：林 寛  
九州・沖縄 再任：穴見 誠

ウ) 会計幹事 退任：平川 進  
再任：大西 智之  
新任：小野寺 月美

4) 会計監査 再任：平井 正博、山口 剛

2. “日本工学院専門学校校友会会則”第18条「顧問」及び“顧問の委嘱に関する細則”により、現在の顧問は次の通りである。(敬称略)

顧問 平松 義雄、大谷 正勝、松尾 勇市、大島 一博、喜屋武 光信、佐藤 博治  
新任：野里 和弘

先生から  
一言

# 学科から卒業生へ



## クリエイターズカレッジ

- 放送芸術科 ..... P22
- 声優・演劇科 ..... P23
- 演劇スタッフ科 ..... P23
- マンガ・アニメーション科 / マンガ・アニメーション科四年制 ..... P24

## デザインカレッジ

- ゲームクリエイター科 / ゲームクリエイター科四年制 ..... P24
- CG映像科 ..... P25
- デザイン科 ..... P25  
(グラフィックデザイン科 / Webクリエイター科 / インテリアデザイン科 / プロダクトデザイン科)

## ミュージックカレッジ

- ミュージックアーティスト科 ..... P26
- コンサート・イベント科 ..... P26
- 音響芸術科 ..... P27
- ダンスパフォーマンス科 ..... P27

## ITカレッジ

- 情報処理科 ..... P28
- AIシステム科 ..... P28
- ネットワークセキュリティ科 (パソコン・ネットワーク科) ..... P29
- 情報ビジネス科 ..... P29
- ITスペシャリスト科 ..... P30

## テクノロジーカレッジ

- 電子・電気科 ..... P30
- 機械設計科 ..... P31
- 建築学科 / 建築設計科 ..... P31

クリエイターズカレッジ

放送芸術科



左から：長濱先生、山田先生、金井先生、高澤先生、上原先生、笹本先生  
(吉田先生、草間先生は業務都合で撮影時に不在でした)

卒業生の皆様お元気でしょうか。現在、放送芸術科で教員をさせて頂いております放送制作芸術科2期卒業の上原と申します。

放送芸術科も放送制作芸術科から始まり放送メディア科、放送・映画科、放送芸術科と学科名を変わりながら2022年48期生が入学、後2年で50周年を迎えます。卒業生の皆様もご存じかと思いますが、蒲田校も48年前とは打って変わって昔の面影は全くと言っていいほど無く、今では大田区住民の憩いの広場的な場所へと変革し、夏になるとセミやトンボや蝶々が飛んでいます。信じられますか？ この変革で残念な事ではありますが、古い卒業生の皆様なら良くご存じの「2号館入口の横にあった喫茶店アイチ」「居酒屋なカ川」、工学院通りにあった「カフェ・太郎」「弓道場」「映画館」は無くなり、昔の蒲田をご存じの方にとっては何となく寂しい感じがあるかも知れません。とは言ってもとても過ごしやすい良い環境になっていると思います。

教員も様変わりして、昔懐かしい、萩原先生、村主先生、市川先生、下地先生、辰巳先生、宮本先生、鈴木先生、本先生、宮川先生、芝野先生、塩川先生、石倉先生、W竹内先生、国重先生、宮上先生、沼澤先生、濱水先生、脇先生、清水先生、木下先生、東先生、他多数の先生方が退職されていきました。(残念ながら亡くなられた先生方もいらっしゃいますが)今現在、放送芸術科は高澤科長の下に長濱主任、金井先生、山田先生、笹本先生、吉田先生、草間先生、上原と沢山の講師の先生方で放送芸術科50周年に向け、社会人として恥ずかしくないような卒業生を出すべく頑張って学生指導に当たっています。

こうして長きに亘り放送芸術科が存続出来たのも、偏に卒業生の皆様が現場で大活躍をされ工学院ブランドを作り上げて頂いたお蔭です。教職員一同感謝しております。是非、良い機会がございましたら蒲田に来て頂いて新しく変わった学校を見学してみませんか。最後に卒業生の皆さんに頼ってばかりで恐縮ではございますが、学科では50周年に向けて何か記念行事的なものを出来ればと考えており一部の卒業生の皆さんにご協力をお願いすることがあるかも知れません。その際は快く受けて頂けると大変有り難いです。コロナ禍で大変な日々をお過ごしかと思いますが、卒業生の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

クリエイターズカレッジ

声優・演劇科

卒業生の皆さんお元気ですか？

声優・演劇科は今年47期学生を迎え入れました。コロナ禍の中、高校時代を過ごした学生も多く先ずはマスクを取ることに抵抗をなくすことが最初の授業となりました。

なかなか「コロナ」が落ち着きを見せない中、皆さんはいかがお過ごしですか？

まだまだ夢を諦めず邁進されている人、追うものを変えて頑張っている人、夢を掴みガムシャラに突き進んでいる人、それぞれに葛藤し模索し、そして苦しんでいるかもしれませんし希望に満ち溢れているかもしれないと、今の学生を見ながら想いを馳せています。

皆さんが学んでくれていた2年間は決して嘘をつきませんし、これからも皆さんを支える原動力となっていてくれると信じています。

学校は今年3年ぶりに「かまた祭」を復活させる計画を進めています。

コロナ禍の状況にもよりますが、皆さんの元気な姿が見られる集いの場になればと思っております。是非お楽しみに！

声優・演劇科 職員一同



吉村先生 村田先生 平野先生 宮下先生 城田先生



佐々木先生 渡邊先生 荒井先生 小林先生 生田目先生

クリエイターズカレッジ

演劇スタッフ科

卒業生の皆様お元気でしょうか。

演劇スタッフ科は、今年で39期生を迎え、舞台監督・音響・照明・大道具・小道具・デザインのセクションに分かれ、たくさんの方が学んでいます。また、高校演劇のサポートも約30年継続しております。最近ではインスタグラムを始め、体験入学、修了公演・卒業公演の様子や日々の実習の様子などを投稿しています！後輩たちの頑張っている姿をご覧いただければと思います。

@engeki\_staff

コロナ禍の中、落ち着いた毎日もありますが、皆様にご活躍されているお話を伺っており、大変うれしく思っております。機会がございましたら、お時間のある時、是非学校にお越しください！

また、お会いできるのを楽しみにしております。皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



吉村先生 寺嶋先生 山田(岳)先生 鶴巻先生



山本先生 増田先生 福田先生 井手先生

クリエイターズカレッジ

マンガ・アニメーション科  
マンガ・アニメーション科四年制

卒業生の皆さんお元気でしょうか？

2000年に学科がスタートし、総合アニメーション科、マンガ・アニメーション科、クリエイティブラボラトリー科、クリエイティブラボ科、マンガ・アニメーション科四年制と、2年間制、4年間制を設け、多くの後輩たちが現在も学んでおります。学科としては23周年を迎えました！皆様のご活躍はこちらでも拝見し、非常に嬉しく感じております！まだまだ確認できていないご活躍もあると思いますので、是非学校へもご連絡下さいませ。



今年は「かまた祭」も3年ぶりに復活しますので、お時間のある方は学校へ遊びに来て下さいね。現状、コロナの影響で、同窓会も行えておりませんが、落ち着いたらまとめて同窓会を予定しております。学科のお知らせは、公式Twitterにて告知しておりますので、是非ご覧ください。@sa\_neec

デザインカレッジ

ゲームクリエイター科  
ゲームクリエイター科四年制

ゲームソフト科、クリエイティブラボ科ゲームコース、そしてゲームクリエイター科の卒業生の皆様、コロナ禍で大変な日々をお過ごしだったのではないかと思います、お元気にされておりましたでしょうか？

学校もオンライン授業などを取り入れ、コロナ時代の教育としてDX化を推し進めてまいりました。幸い情報系の学科なので教員達は水を得た魚のように、ITツールを駆使し学生にとって学びやすい環境を追求することが出来ました。一方、対面でしか得られない感情や学びがあることもコロナが気づかせてくれました。

写真の通り教員のメンバーもすっかり入れ替わり、10年以上前に卒業した方々がご存じなのは渡辺と村田だけかもしれません。教員だけでなく学習環境も大きく変わっており、皆さんが慣れ親しんだ3号館の8階の実習室群は、804・817にeスポーツ大会が開催できる実習室を新設し、818はPC実習室になり、802・805・806は木の固定机を撤去して多目的な用途で使える実習室に生まれ変わりました。

今年度からOB・OGの交流の場であった「かまた祭」を復活すべく計画しております。開催にこぎつけた際は、元気な顔で学校の変った所を見に遊びに来て下さい。皆様のご健康とご活躍を心から祈っております。



後列左から：東先生、岸先生、小野先生、宇野先生、鶴岡先生、山村先生、北原先生、寺岡先生、幸田先生  
前列左から：村田先生、佐野先生、大原先生、渡辺先生、土井先生

デザインカレッジ

CG映像科

マルチメディア科CGコース、コンピュータグラフィックス科、クリエイティブラボラトリー科CGラボ、CGクリエイター科、そしてCG映像科の卒業生の皆様お元気ですか？2022年度現在、CG映像科三年制が立ち上がって9年目を迎え、120名を超える新入生が入学しました。教育の幅も広がったうえに専門分野の強化にも力を入れてきたことで多くの学生が希望の進路を勝ち取っています。2020年より猛威を振ったコロナウィルスにより登校が難しい時期もありましたが、学びを止めない取り組みとして多くの授業がオンラインで実施されました。例年と違う学校生活を余儀なくされた学生たちでしたがCG教育とオンラインとの親和性にも助けられ、乗り越えることができました。今も昔も学生たちは変わらずアニメやゲームや映画好きで、毎日作品制作に励んでおり、積極的に外部案件にも関わっています。近況については学科のホームページとブログをご覧ください、後輩たちの様子を感じ取っていただければと思います



後列左から：早川先生、高塚先生、島山先生、富田先生、松永先生、鈴木先生、金光先生  
前列左から：平井先生、神野先生、坂本先生

デザインカレッジ

デザイン科 (グラフィックデザイン科 / Webクリエイター科 / インテリアデザイン科 / プロダクトデザイン科)

みなさんお元気ですか？

本科は、2021年よりグラフィックデザイン科・Webクリエイター科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科が統合してデザイン科となり、専攻分けされてグラフィックデザイン専攻・イラストレーション専攻・インテリアデザイン専攻・プロダクトデザイン専攻となりました。専攻によっては、マルチメディアアート科やインテリア・プロダクトデザイン科といった学科の時もありましたが、時代とともに変化し成長を遂げてきました。

先生方は、デザインに情熱を持つ後輩たちの指導で毎日忙しく、楽しく、やりがいをもって過ごしています。コロナの時も今も、手を動かしデザインすることを止めないように工夫を凝らし、作品制作・指導に励んできました。前期終了時に行う秋期作品展、年度末の卒業作品展など力作ぞろいの展覧会を行う予定です。お忙しいとは思いますが、ぜひ足を運んで後輩の作品をご覧いただければと思います。皆さまのさらなるご活躍を願っております。



左から：林先生、鶴田先生、川口先生、角田先生、加賀先生、山本先生、小池先生

ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科

コンピュータミュージック科、ミュージックエンタテインメント科、総合ミュージック科、そして、ミュージックアーティスト科の卒業生の皆さん、お元気ですか？

名前を変えながら歴史を重ねてきた本学科は、今年で23年目を迎えました。

これまでたくさんの卒業生を送り出してきましたが、近年、アーティストや作曲家、また、ヴォーカリストとして活躍しているOBOGからの報告を受ける機会が増え、大変うれしく思っております。

直近では、2021年夏に プレイヤーコース卒業生の阿坂亮平(Gt)が、ビクターエンタテインメント株式会社から『Mr.ふおるて』というバンドでメジャーデビュー致しました。

今年の卒業生には、カラオケバトルなどカラオケ番組に出演したり、大手メーカーのプロデューサーがShibuya Duo EXCHANGEで企画したライブにオーディションを経て出演したりと目覚ましい活躍を見せてくれています。

1・2年生ともに現在もプロフェッショナルを目指して毎日トレーニングに励んでいますし、デビューに向けての準備段階に入っている学生もおります。また、昨今の音楽に変化が起こり、在学中からYoutuber、ライバーとしてインカムを得る学生、自らの作品を音楽系サブスクリプションにのせてプロモーションするケースもあります。音楽で食べていくことがメジャーデビューに限られなくなってきました。

卒業生の皆さんの活躍が在学生の何よりも励みになっていますので、近くに寄った際には、是非遊びに来てください。卒業生の皆さんの今後のご活躍を心から祈っています！



後列左から：原田先生、我妻先生、志鎌先生  
前列左から：多田先生、下條先生

ミュージックカレッジ

コンサート・イベント科

おはようございます。コンサート・イベント科の卒業生の皆様。コロナがまだ収束しきったと言えない中、いかがお過ごしでしょうか。コロナの影響が小さくない中でも、1・2年生共に各6クラス、合わせて12クラスという工学院の中では一番の大所帯であることはまだ継続しています。1年生が29期(ということは来年で30周年)になります。学科の雰囲気もその時の音楽、ライブの流行を反映してか、様々な変遷がありました。

今も現役、大御所と言われる方々のファンが中心だった学科の創成期。渋谷、下北などのライブハウスクラスのバンドの話題で持ちきりだった頃。2000年前後は巨大ライブ、イベントなどが目白押しで、その頃に大ブームだったビジュアル系を反映して、黒装束にお化粧パッチリが大半を占めた頃。4大野外フェスの初期はメロコアバンク系の台頭があり、実習にもかかわらず、短パン、ビーズンという出で立ちが目立った頃。アコースティックデュオがストリートライブからどんどん巨大化していく中、アコギを抱えた学生が多数いた頃。ジャパニーズヒップホップやレゲエなど、横ノリの感じで揺らめいていた頃。今はというと、アイドル好きが全盛、バンド好きは少数、アニメや声優などからボカロ、Vtuberなどの二次元コンテンツも欠かせません。変わらず一貫しているのは、ライブ、イベントなどが好き!ということ。瀕死の重傷を負ったエンタメ業界においても、その価値は不変である事が証明されているような2022年ですね。

学校がある蒲田も大きく変わっていますが、工学院もコンサート・イベント科も健在です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。学科スタッフ一同お待ち申し上げます。(山下)



後列左から：小峰先生、吉野先生、佐藤先生、中里先生、森永先生、鈴木先生  
前列左から：島立先生、森岡先生、嶋田先生、小保方先生、田中先生、山下先生

ミュージックカレッジ

音響芸術科

皆さんお元気になっておりますでしょうか??

音響芸術科は今期で42期目を迎え、日本工学院の中でも歴史の長い学科の一つとなりました。これもひとえに卒業生の皆さまからの支援があつてこそだと思っております。

そんな音響芸術科ですが今年度より教員の体制も様変わりし、新しい先生として濱野先生が入職されました。濱野先生はラジオ業界にてDJとして活躍されていた喋りのプロであり、現在は2年生の担任とラジオ専攻の授業を担当しております。

その一方で大変残念なことに、長年音響芸術科を支えてきた増田先生が、今年度よりクリエイターズカレッジの演劇スタッフ科に異動という形となりました。多くの卒業生を輩出してきた増田先生の異動は学科としても大変残念な形となりましたが、新制音響芸術科として、これからも益々学科を発展させていけるよう教員一同精一杯取り組んでいきたいと思っております。卒業生の皆さまにおかれましても、さらなるご活躍を心より願っております。今年のかまた祭も実施予定なのでご都合がつけば是非遊びにいらしてくださいね。



左から：我妻先生、梶原先生、野瀬先生、蓑輪先生、濱野先生、古川先生、横田先生

ミュージックカレッジ

ダンスパフォーマンス科

ダンスパフォーマンス科卒業生の皆さん、お元気ですか。

沢山の卒業生がプロダンサー、インストラクター、アーティストなど、様々なフィールドで活躍しているのを、いつも嬉しく拝見しています。また、ダンスを離れて違うフィールドで活躍している方、ご結婚されて子育て中の方々など、在学中の思い出や経験が、人生の支えになっていたら幸いです。

ダンスパフォーマンス科は昨年15周年を向かえ、今年の春には16期生が入学してきました。ここ数年はコロナ禍の中で、思うようにイベント出演や学校行事、インターンシップが出来ない事も有りました。このメッセージを読んでいる卒業生の中には、まさにコロナ禍の中で卒業していった方もいるかと思えます。しかし、皆さんが2年間で築き上げたダンス力、人間力、そしてここで出会った掛けがえのない仲間達との絆は人生の大きな宝物として、決して色あせる事は無いと信じています。

活気と情熱と笑顔に溢れたダンスパフォーマンス科の環境は間違いなく皆さんの汗と涙と努力が作り上げた物です。その伝統をこれからも私たちが守り続けて行きますので、お近くにお越しの際はお立ち寄り頂き、懐かしい笑顔を是非見せて下さい。教員一同お待ちしております。



左から：三山先生、藤田先生、野中先生、井口先生

ITカレッジ

情報処理科

情報処理科を卒業された皆様、お元気ですか？

情報処理科は2022年度で67期目となり、今年度も200名を超える新入生を迎えることができました。これもひとえに情報処理科卒業生の皆様、関わるすべての皆様、先輩教職員の皆様の支えがあったからこそと感謝しております。

昨今のコロナ禍において教育手法や授業手法の幅が広がり、IT系学科らしく、デジタル教材／LMS／Zoom等を活用しながら、蒲田キャンパスでの最先端の理想的教育環境に加え、オンライン教育のメリットを最大限活用しての「ハイブリット型教育」を率先して展開しています。私達教員も2019年までは考えられなかったことが現実で起こっているIT分野における技術革新のスピード感をあらためて肌で感じたここ数年であります。

卒業生の皆様、蒲田キャンパスに足を運んでいただいての交流も大歓迎ですし、遠方に暮らしている卒業生の皆様もオンラインツールを活用した卒業期間問わずのワイワイ同窓会を開催してみませんか？ 皆様と再会できる日を楽しんでいます。

最後になりますが、卒業生皆様の今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



左から：諸岡先生、下川先生、山下先生、鈴木先生、三鷹先生、山本先生、清水先生、齋藤先生

ITカレッジ

AIシステム科

AIシステム科を卒業された皆様、お元気でいらっしゃいますか。

2020年にスタートした本学科も、無事卒業生を輩出することができました。今年度は3期の入学生を迎えましてより一層楽しく、実のある授業を展開しています。

蒲田校エントランスには、企業連携プロジェクトである総合案内AIサービスを設置し、よりAIの便利さを実感してもらえる取り組みも進めています。

状況が落ち着いてきており、イベント、行事を積極的に開催できるようにってきました。学園生活を楽しむことがなかなか難しかったと感じておりますので、卒業生の皆様も機会がありましたら、是非ご参加ください。

蒲田にお越しの際は学校へお立ち寄りいただけましたら幸いです。皆様の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。



左から：村上先生、末吉先生、伊藤先生、小高先生、岩堀先生、篠崎先生、安孫子先生

ITカレッジ

ネットワークセキュリティ科  
(パソコン・ネットワーク科)

パソコン・ネットワーク科(現:ネットワークセキュリティ科)の卒業生の皆さんお元気にお過ごしでしょうか。

お蔭様で本学科も今期26期目を迎えることができました。現在はネットワークセキュリティ科と学科名を改め、ネットワーク及びセキュリティ分野のスペシャリストとして活躍する人材を輩出できるよう、実習授業を中心に授業内容も社会や企業のニーズに応えられるよう刷新しながら進めております。

以前より、かまた祭や卒業展などのイベント時や、普通の日にも、学校を訪れてくれる卒業生も多く、色々な話をする中で、社会や仕事を通じ成長された姿を拝見し、大変嬉しく感じております。

今年は「かまた祭」も行われる予定です。

今後も、蒲田にお越しの際は、是非学校へお立ち寄りいただけましたら幸いです。皆様の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。



左から：西山先生、井上先生、中西先生、東堂先生

ITカレッジ

情報ビジネス科

情報ビジネス科の卒業生の皆さんお元気にお過ごしでしょうか。

お蔭様で今期15期目を迎えることができました。現在は秘書・事務コース、eビジネスコース、ホテル・観光コースと多彩なコースを開設しており、各分野のスペシャリストとして活躍されていた新たな教員も加わり、各種業界や業種のニーズに応えられる人材を輩出できるよう、毎年授業内容を刷新しながら日々努力をしております。

「人間力・即戦力」という観点は設立当時から変わらずグループワーク学習と資格の取得に注力しているため、当科の卒業生はコミュニケーション能力が高いと企業様から大変好評をいただいております。

コロナ禍において皆さんは仕事やプライベートの面で生活環境が変わり、日々大変な毎日をお過ごしの方もいらっしゃると思いますが、心身共に健康であることが何より幸せなことだと思います。適度にストレスを発散して、無理はせずに、当たり前のように送っている日常の生活に感謝をしながら笑顔を忘れずに毎日をお過ごしください。また、人生の先輩である卒業生の皆さまからお話を聴くことは、在校生にとって貴重な機会となります。ぜひ在校生に現場からの「ナマの声」を聴かせていただければ嬉しいです。皆様の益々のご活躍を教員一同祈念いたします。

今年のかまた祭を実施しますのでぜひお越しください。



左から：遠藤先生、上遠野先生、風間先生、井上先生、浅野先生

ITカレッジ

ITスペシャリスト科

ITスペシャリスト科を卒業された皆様お元気ですか？

2007年にスタートした本学科も早いもので15年が経ち、今年度は16期の入学生を迎えました。学科の学生数も1年から4年まで合わせると400人を超えるほどになりました。コース専攻も時代に沿う形で再編成を行い、今年度からはAI・システム専攻、ネットワーク・クラウド専攻、セキュリティ専攻の3専攻体制になりました。またカリキュラムも刷新し、AIやIoT、クラウド技術などの最先端の技術についても学習しています。

かまた祭や卒業展、学内企業説明会などの機会に学校に訪れてくれる卒業生も多く、教員一同大変嬉しく感じております。卒業生の皆様も急速に変化し続けるIT業界の中で、日々頑張っておられることと思います。設立当時からクラス担任や科目担当をしていた教員も今も元気に頑張っておりますので、蒲田にお越しの際は学校へお立ち寄りいただけましたら幸いです。皆様の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。



左から：東堂先生、降矢先生、中西先生、兒玉先生、片山先生、  
税田先生、大日方先生、煤孫先生、白幡先生

テクノロジーカレッジ

電子・電気科

卒業生のみなさん、お元気ですか？

電子・電気科(E2)は、旧電子工学科・電気工学科・電気工事科を一つにまとめてから、今年で16年目を迎えることができました。

今年度は、教員・助手・補助員を含め11名で教育にあたっています。

2020年に新型コロナウイルスが蔓延し、世界全体が打撃を受け、本校もそのあおりを受けました。

その頃から2年が経った今では、ほぼ通常の授業が行える状態まで回復しつつあります。

コロナ禍であっても、電子・電気科は従来通り、第一級陸上特殊無線技士・第二種電気主任技術者・第二種電気工事士の資格認定は変わりません。

卒業生のみなさんには、数多くの後輩たちがお世話になっていることと思います。今後も素晴らしい人材を輩出してまいりますので、是非ともよろしく願いいたします。

今年、3年ぶりに『かまた祭』を行う予定です。実施の際は是非とも電子・電気科へお越しただければと思います。

卒業生のみなさんの益々のご活躍を心から祈っております。



後列左から：長須先生、前田先生、渡邊先生、佐藤先生、三須先生  
前列左から：石坂先生、川村先生、森田先生、知久先生、内田先生

テクノロジーカレッジ

機械設計科

卒業生のみなさん、お元気ですか？

機械設計科は旧CAD設計製図科から学科名変更して8年が経過し、新入生はID52期となりました。

今年度は、昭和から長きにわたり本学科で専任教員として活躍していただいた斎藤先生が退職され(といっても、非常勤講師として週2日講義を行っていただいています)、新たに加わっていただいた先生を含め、専任教員6名、非常勤講師5名で教育にあたっています。

新型コロナウイルスが蔓延し、当然そのあおりを受けましたが、現在はほぼ通常の授業が行える状態まで回復しております。

コロナ禍であっても、機械設計科は従来通り、資格は2次元CAD利用技術者試験1級、3次元CAD利用技術者試験1級を目指し、卒業製作においては企業連携を含め自分たちで考えたものを設計・製作してきました。

卒業生のみなさんには、数多くの後輩たちがお世話になっていることと思います。今後も素晴らしい人材を輩出してまいりますので、是非ともよろしく願いいたします。

今年、3年ぶりに『かまた祭』を行う予定です。実施の際は是非とも機械設計科へお越しただければと思います。

卒業生のみなさんの益々のご活躍を心から祈っております。



後列左から：川村先生、野崎先生、板倉先生、渡邊先生  
前列左から：遠山先生、岡崎先生、斎藤先生

テクノロジーカレッジ

建築学科／建築設計科

OB・OGの皆さん、お元気ですか？

2022年、おかげさまで建築学科は12期、建築設計科は27期目を迎えることができました。教員は現在10名で、様々な個性を活かして教育に携わっています。

建築業界も社会情勢に伴って様々な変化が起こっていますね。来年からは新しいカリキュラムで1年生を迎えようとしていて授業内容を見つめ直しています。体験型授業を増やそうとしていて、お世話になっている企業さんに色々お声掛けをさせて頂き協力いただいています。どうか我々に力を貸してください！

そして皆さんもきっと、建設DXとか働き方改革とか、様々な変化で仕事が色々大変だと思います。仕事に悩んだ時は、気軽に連絡してくださいね。Instagram, Twitterも始めましたので学科の取り組みもご覧ください。そしてそして、今年3年振りにかまた祭が開催されます！ぜひ母校にお立ち寄りください。我々は教員室か実習室に居ますので、同級生と一緒に1人でも気軽に遊びに来てくださいね～！



後列左から：平山先生、岩田先生、山田(盛)先生、井口先生、松村先生、大澤先生  
前列左から：赤石先生、瀧川先生、小林先生、山田(俊)先生

## 令和3年度 卒業証書授与式



令和4年3月17日、日本工学院専門学校片柳アリーナにて卒業証書授与式が執り行われ、2,500名以上の卒業生が学び舎を巣立ちました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、式典の参加は卒業生と教職員に限定、午前・午後  
の二部制(分散)での開催となりました。

今期の卒業生は、対面授業の減少や遠隔授業導入、体育祭やかまた祭の中止、卒業展の規模縮小など、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた学年です。その困難な状況を乗り越え日本工学院で得た知識や経験を糧として、一人ひとりがそれぞれの道で輝かしい未来を送ることを、心から祈念します。(卒業式本部責任者/教育・学生支援部 課長 和田 豊)



式次第	
午前の部 クリエイターズカレッジ/ デザインカレッジ/テクノロジーカレッジ	午後の部 ミュージックカレッジ/ ITカレッジ
開式の辞	
理事長・校長挨拶：学校法人片柳学園理事長・日本工学院専門学校校長 千葉 茂	
副校長式辞：日本工学院専門学校副校長 遠山 一明	
証書授与：千葉理事長・校長から各カレッジ総代へ	
送辞：午前の部 クリエイターズカレッジ 声優・演劇科 原田 晃生 午後の部 ITカレッジ 情報ビジネス科 安部 葉永	
答辞：午前の部 テクノロジーカレッジ 環境・バイオ科 染谷 みずき 午後の部 ミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科 北村 鈴	
閉式の辞	

## 令和4年度 入学式



令和4年4月3日、日本工学院専門学校片柳アリーナにて入学式を挙行いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度卒業証書授与式と同様、午前の部と午後の部に分けて式を執り行いました。また、事前申込み制で学生1名につき保護者1名という制限はございましたが、平成31年度以来3年ぶりに保護者の方にご参列いただくことができました。ご来場できない保護者の方に向けては、東京工科大学協力の下YouTubeでリアルタイム配信を行い、多くの方に式典の様子をご覧いただきました。

式典は千葉 茂理事長・校長のごあいさつ、山野 大星副校長からの式辞と続き、校友会 桂田 忠明会長から新入生へ祝辞として温かい歓迎の言葉をいただきました。

その後、ゲームクリエイター科の長谷川 夢人さん(午前の部)、情報ビジネス科の金 ハンナさん(午後の部)から「歓迎の辞」として今後の学生生活に向けて激励の言葉が送られました。

約2,600名の新入生の皆さんを教職員一同歓迎いたします。

(入学式本部担当/教育・学生支援部 学生課 松坂 果歩)



## 第51回 体育祭

テーマ：天真爛漫  
ありのままに楽しむ



令和4年6月2日、晴天の中で実に3年ぶりとなる体育祭が行われ、日本工学院専門学校片柳アリーナのオープニングでは学生委員会の開会宣言とともに華々しくキャノン砲が発砲!公式チアダンスチームTiaraが熱いエールをダンスパフォーマンスで展開し、活き活きとした学生の表情がみられた一日となりました。この日に至るまでには、学校イベントが自粛されて在校生は我慢する日々を過ごしてきました。イベントがないまま卒業していった学年もあります。在学中に交流イベントがないなんて、何か学生生活を損した気持ちになりますよね。そんな中で学生委員会Actもイベントを心待ちにして、その間にできることとして組織を大きくしていきました。彼らが考えた今回の体育祭のテーマは「～天真爛漫 ありのままに楽しむ～」として様々な試みにあられました。まずはキャンパス内全体を使う。競技参加者数を増やすために分散開催で午前午後に分ける。そして、運動が苦手な学生にも楽しめる競技を、という学生委員長の一言から競技内容について学生主体で希望種目が出され、教員がサポートする形で会議が進められました。片柳アリーナでは「ドッチビー」と「バスケットボール」、「卓球」の他にAステージでは「歌うまコンテスト」が、10階階段教室では「スマブラ大会」、8階では「VALORANT」とeスポーツが展開。5階ではクイズ大会、そして20階より上の屋上へ階段で上がる「屋上ツアー」は人気種目で事前エントリーも殺到しました。駐車場では「だるまさんが転んだ」、そしてセントラルプラザではキッチンカーが多数出店され、大いに盛り上がりました。また学外ウォークラリーを楽しんだ学生も多く、学内そして周辺地域への展開の可能性を感じました。大きなけがもなく終了し、在校生の満足度もますます。今後のかまた祭に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。関係者の皆様、この場をお借りしましてご協力に改めて感謝いたします。

(第51回 体育祭実行委員会本部長 テクノロジーカレッジ 建築学科/建築設計科 学科長 山田俊之)



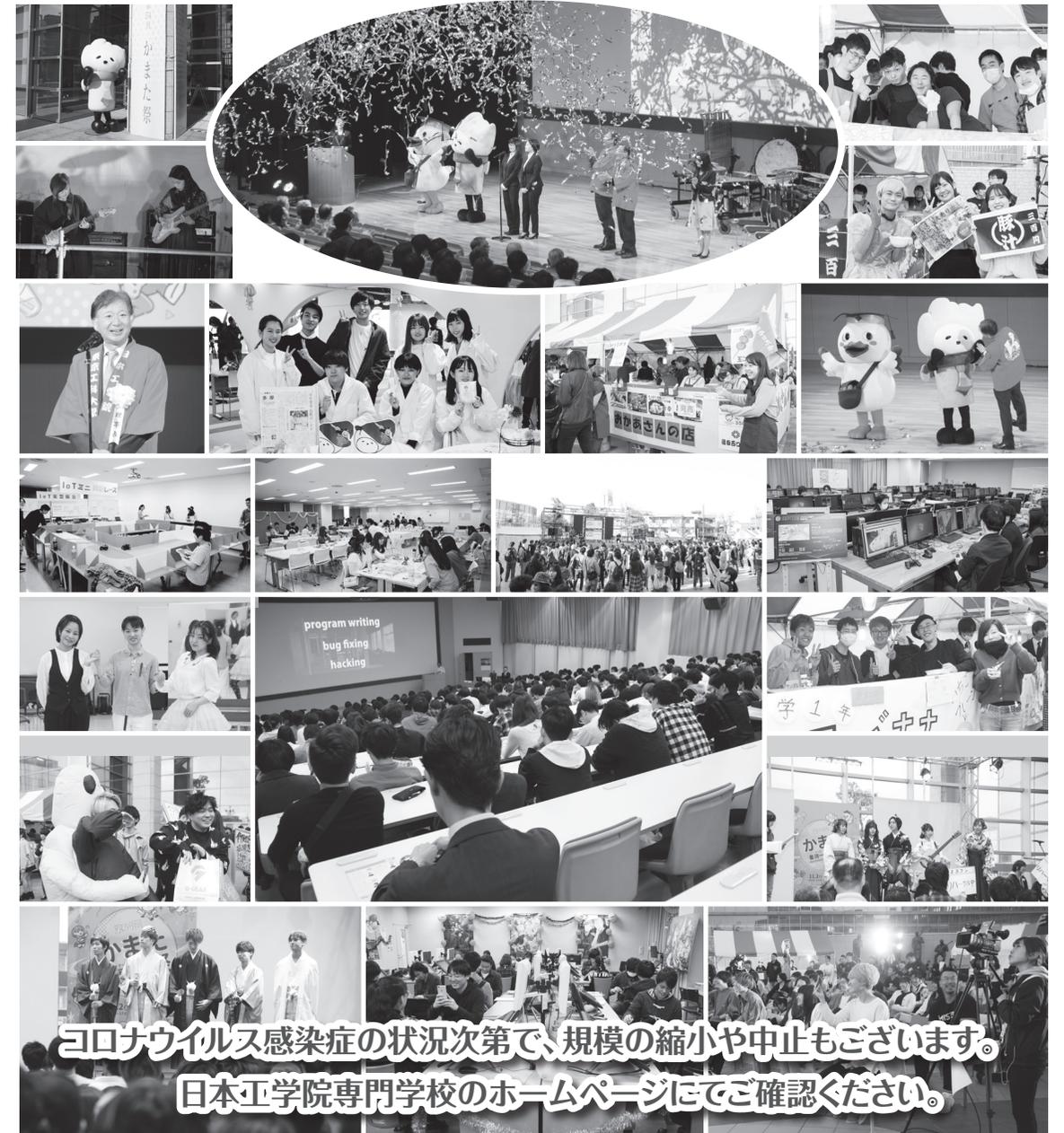
## 第55回

# 「かまた祭」のお知らせ

令和4年 10月29日(土)・30日(日)

Thema: 「風の末にも三年」～ここからまたはじめよう～

第55回「かまた祭」は、令和元年11月以来3年ぶりに蒲田キャンパスにて東京工科大学と共同開催で2日間にわたって行われる予定です。7月には学生による実行委員会と、教職員による実施本部が立ち上がり、テーマを決定し、現在は本番に向けて鋭意準備中です!



# 2021年度 企業奨学金授与式

株式会社城南サービス 様 / 株式会社有隣堂 様 より奨学金が給付されました。

2021年12月10日(金) 校友会ラウンジにて「企業奨学金授与式」を開催しました。  
この奨学金は、日ごろより学生・学校共にお世話になっている株式会社城南サービス様ならびに株式会社有隣堂様より、学業・人物ともに優秀な学生を顕彰し、支援・応援をする目的で給付されるものです。

- ▶ 給付額：各100,000円
- ▶ 対象：学業・出席率・就職先・資格取得など総合的に優秀な成績を修めている学生を選出、カレッジ・学科より推薦

○株式会社有隣堂 企業奨学金授与式：2021年12月10日(金)13:00～  
授与対象者：2名(マンガ・アニメーション科四年制、コンサート・イベント科 各1名)  
プレゼンター：株式会社有隣堂 代表取締役社長 松信 健太郎様

○株式会社城南サービス 企業奨学金授与式：2021年12月10日(金)14:30～  
授与対象者：1名(ITスペシャリスト科)  
プレゼンター：株式会社城南サービス 代表取締役 磯 取二様

コロナ禍という事もあり、式典は簡潔に行われました。それぞれ授与される際にプレゼンターの方から激励のお言葉を頂き、授与された学生達からは、今後の抱負や「奨学金を大切に活用していきたい」など、感謝の言葉がありました。最後に記念撮影をし、授与式は滞りなく終了いたしました。

授与された皆様のご活躍を期待しています。



株式会社城南サービス



株式会社有隣堂

# 写真でみる 校舎の変遷

昭和22年(1947年)5月、片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5丁目)に絵画、洋裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来70年以上の歴史を誇る片柳学園 蒲田校校舎の変遷をたどりました。





1947年 昭和22年 1953年 昭和28年 1957年 昭和32年 1961年 昭和36年 1965年 昭和40年 1969年 昭和44年 1973年 昭和48年 1977年 昭和52年 1981年 昭和56年 1985年 昭和60年 1987年 昭和62年 1989年 平成元年 1991年 平成3年 1993年 平成5年 1995年 平成7年 1997年 平成9年 1999年 平成11年 2001年 平成13年 2003年 平成15年 2005年 平成17年 2007年 平成19年 2009年 平成21年 2011年 平成23年 2013年 平成25年 2015年 平成27年 2017年 平成29年 2019年 平成31年 令和元年 2021年 令和3年 2023年 令和5年

### クリエイターズカレッジ

ゲームやアニメ、CG、テレビや映画で活躍するディレクターや声優・俳優、デザイナーなどをめざしたい人に。

- ◆ 放送芸術科
- ◆ 声優・演劇科
- ◆ 演劇スタッフ科
- ◆ マンガ・アニメーション科四年制
- ◆ マンガ・アニメーション科

### デザインカレッジ

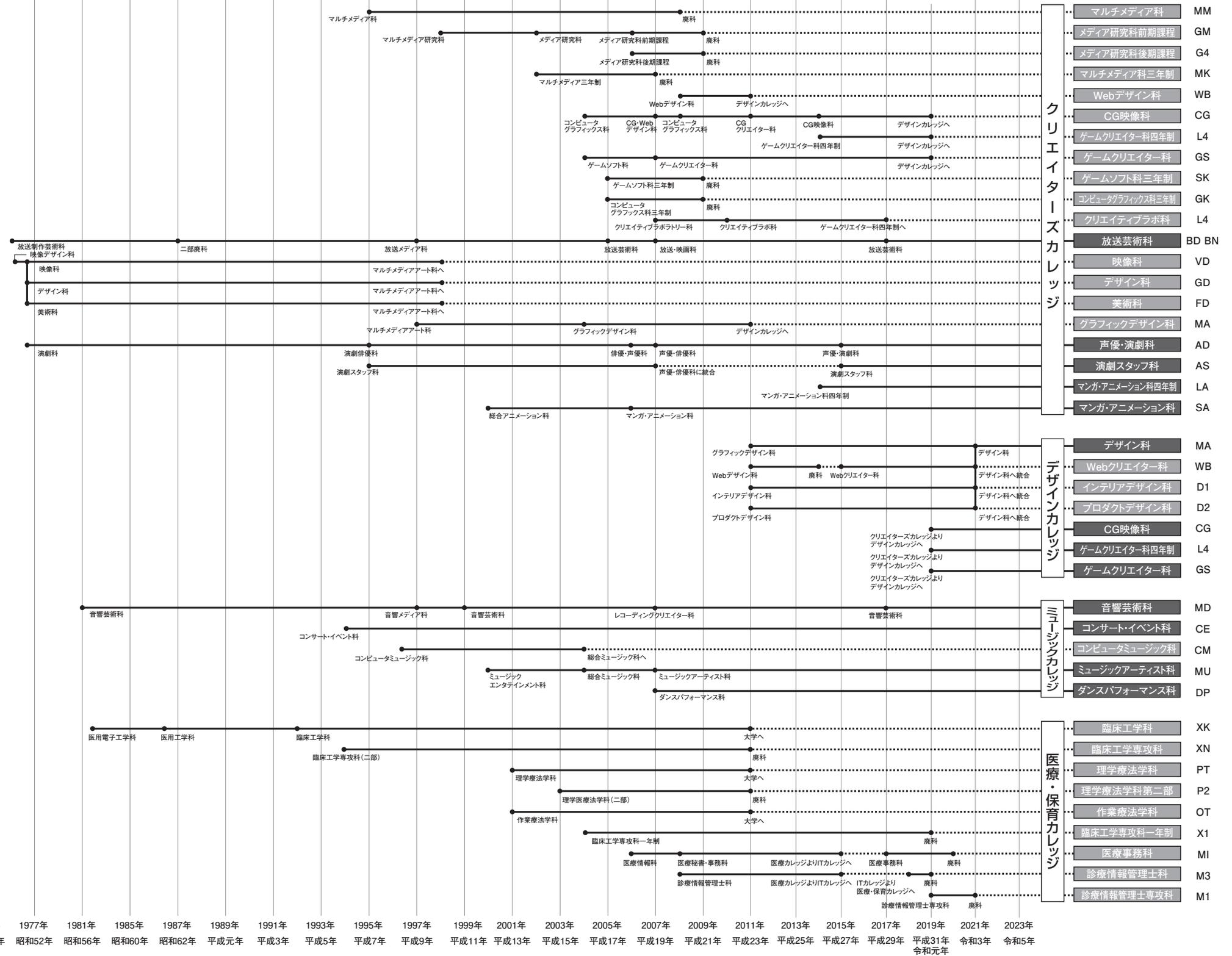
デザイン力、キャリアデザイン、人間形成の3要素をバランスよく学び、ワンランク上のデザイナーをめざす人に。

- ◆ デザイン科(3年制)
- ◆ ゲームクリエイター科四年制
- ◆ ゲームクリエイター科
- ◆ CG映像科(3年制)

### ミュージックカレッジ

ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。

- ◆ ミュージックアーティスト科
- ◆ コンサート・イベント科
- ◆ 音響芸術科
- ◆ ダンスパフォーマンス科



## キャリアサポートセンターからの報告

キャリアサポートセンターは、就職・進学・デビューに関する卒業後の進路に向けて支援しています。また、UIターンに関しても、青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島・長野・山梨・熊本・宮崎の各県との就職支援協定を結んでおります。今後は、中部地区・九州・沖縄地区・北関東を視野に当校と県との支援を広げていく所存です。地元就職希望の学生への支援を強化してまいりますので、校友会の皆様には引き続き地元の情報に関しても含め、近況についてご連絡を頂ければ幸いです。この度のコロナ禍の中でも、センターでは、諸先生方と共に、社会情報を早めにキャッチし、学生の夢を叶えるべくサポートしてきました。大変な状況ではありましたが、今春卒の学生達も様々な進路に向けて、無事に巣立つことが出来ました。これもひとえに、各方面で諸先輩方のご活躍されていらっしゃるお陰であると感じております。現在、新型コロナウイルスとの共存も含めて社会環境もようやく明るい兆しは見えて参りましたが、まだまだ予断は許さない状況であると職員は厳しい目で情報収集に努めています。業界の情報及び何より求人に関して、諸先輩方の更なるご協力をお願い申し上げます。



### キャリアサポートセンター長のご挨拶



センター長  
永持 智子

校友会会員の皆様、この4月よりキャリアサポートセンター長に就任いたしました永持と申します。就職活動の際や、校友会の会合でお会いさせていただいた方も多くいらっしゃると思いますし、初めての方も居られると存じます。改めて、どうぞよろしくお願い申し上げます。私は、当校に入職して以来、長年蒲田校の学生就職支援に努めてまいりました。就職が良い時も有りましたが、バブル絶頂期から崩壊後の就職氷河期やリーマンショック、東日本大震災、そしてコロナ禍の進路支援などの時代も経験しました。この辛い困難な時こそ何より強い味方の皆様のご協力がありましたことに深く感謝しております。この場でお礼を申し上げます。今後とも、後輩学生に向けてご支援を頂きたく、変わらずご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 求人情報ご提供のお願い

当校後輩学生へのご求人、業界へのアルバイト情報が有りましたら、下記までご連絡ください。尚、お問い合わせの際には、当校のOB&OGである旨をお伝えください。

### 日本工学院専門学校

#### 教育・学生支援部 キャリアサポートセンター担当

TEL:03-3732-5610(直通) FAX:03-3732-1123

E-Mail: job-kmt@stf.neec.ac.jp

お問い合わせ先

求人申込(新卒対象のみ)は当校HPより「採用企業の皆様へ」のバナーをご確認ください。

## 令和4年3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。

### 2021年3月

氏名	所属等(退職時)
横山 重明	蒲田校/テクノロジーカレッジ
野口 一徳	蒲田校/ITカレッジ
細川 一弘	蒲田校/デザインカレッジ
マン・リュベーン	八王子校/ミュージックカレッジ
杉山 直樹	八王子校/ミュージックカレッジ
前野 一夫	蒲田校/校長
鈴木 まい	蒲田校/ミュージックカレッジ
中原 直樹	蒲田校/デザインカレッジ
金澤 敏一郎	法人/経理課

### 2022年3月

氏名	所属等(退職時)
梅原 緑	大学/事務局 学務課
村上 勝志	八王子校/ミュージックカレッジ
鈴木 勝則	蒲田校/教育・学生支援部
斎藤 雅典	蒲田校/テクノロジーカレッジ
富樫 咲子	蒲田校/ミュージックカレッジ
法川 克弘	蒲田校/テクノロジーカレッジ

永年のご指導  
ありがとうございました!



### 学校法人片柳学園

## 教員・講師募集のご案内

日本工学院では教員(正規職員・契約職員)・常勤講師・非常勤講師の募集をしております。ぜひ、卒業生の皆様のスキルを後輩の育成にお役立て下さい。本校の教育理念にご賛同いただき、教育に熱意のある方のご応募をお待ちしております。卒業後、実社会で経験され、身につけられた知識、技術及び社会人として必要なマナーを活かし、教育に熱心に取り組むことができる方を希望しております。なお応募学科によって求めるスキル、募集資格等が異なりますので、詳細は下記のホームページをご覧ください。

<https://www.katayanagi.ac.jp/recruit/teacher/>



# 会員専用Webサービスご利用の手引き

日本工学院専門学校 校友会 **検索** <http://www.kouyukai.net/> から『会員専用Webサービス』に移動して、会員ID/パスワードでログインしてください。

**1** 画面左下部  
「校友会会員専用Webサービス」をクリック



**2** 「会員ID/パスワード」を入力後、  
ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと  
生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、会員ID/パスワードは自由に  
変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった  
場合は、登録済のメールアドレスと生年月日  
で再発行を受けることができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて十分に  
守られますが、各会員におかれましては、ご  
自身のID/パスワードは確実に保管してい  
たいただきますようお願いいたします。

日本工学院専門学校校友会

ユーザーID

パスワード

パスワードを忘れた方>

**ログイン**

サイトポリシー>

**3** 会員専用Webサービスでは主に以下の  
ような機能があります。

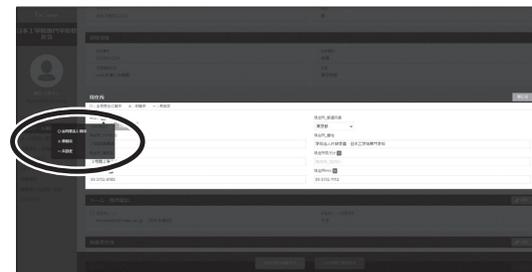
- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更
- ✓ 同窓会やイベントの情報閲覧
- ✓ イベント参加の申し込み

**4** ご自身の登録情報の確認と変更



- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更い  
たいただきますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度公開して良いか、ご  
自分で設定してください。「全会員に公開」「同  
年卒・同年修了にのみ公開」「非公開」の設定が  
できます。

初期設定では全て非公開となっています。



編集画面

スマートフォンからも  
ご利用いただけます!

<https://pu.palsyne.net/g-katayanagi-kamata/>



# 校友会Facebookのご案内

校友会では、Webサイト「校友会NeT」と並行して、Facebookページを運用しています。

「会員の集い」の案内や学校行事の案内等を、写真と共に掲載しています。  
また会員同士のコミュニケーションの場としてご利用いただくことにより、  
懐かしい名前に出会うこともあるかもしれません。ぜひご覧ください!  
(ご覧いただくには、Facebookのアカウント登録が必要です)



<https://www.facebook.com/kamatakouyukai/>

## パソコン版



## スマートフォン版



## 日本工学院専門学校校友会 ソーシャルメディアポリシー

日本工学院専門学校校友会(以下、校友会)では、会員・準会員(学生)、教職員ならびに関係者がソーシャルメディア(Web、blog、Facebookなど)を利用するに当たり、以下の姿勢・行動や基本ポリシーを守るものといたします。



### 基本ポリシー

- (1) 不特定多数の人が利用可能な媒体であるという事を意識し、校友会の会員・準会員(学生)、教職員、その他の第三者に対し不利益や損害を与える行為、プライバシーや財産などを侵害する行為、名誉もしくは信用を毀損する行為、権利や人権を侵害する行為、またはその恐れのある行為をしないよう注意をします。
- (2) 公序良俗に反する行為、犯罪行為または犯罪に結びつく行為、またはその恐れのある行為を行わないように注意をします。
- (3) 特定の個人や集団、または特定の思想、心情、宗教、政治等に対する誹謗中傷や差別的、排他的な発言を行いません。
- (4) 営利を目的とする行為や、宗教、政治の勧誘、またはその準備を目的とする行為は行いません。
- (5) 違法性のあるコンテンツや有害なプログラムを使用する行為、またはその恐れのある行為、誹謗・中傷・差別的表現を含む発言や投稿は行いません。
- (6) 法律、法令または条例に違反する行為、またはその恐れのある行為は行いません。
- (7) その他、校友会が不適切と判断する行為は行いません。
- (8) ソーシャルメディアにおいて発信した情報が、瞬時に伝達され、一度拡散した情報は容易には消去できないことを理解したうえで、表現や記述には細心の注意を払い情報発信を行います。

### ご利用の皆様へ

- (1) 校友会公式ソーシャルメディアの利用は、利用者の責任において行われるものとし、ご利用中に発生した直接・間接の損失・損害に対し、校友会はいかなる責任も負いません。
- (2) 校友会は情報をソーシャルメディア上に掲載する際には、細心の注意を払いますが、その内容の正確性、妥当性、ご利用目的への適合性、安全性について保証するものではありません。
- (3) 校友会は、予告なしに掲載内容を変更・削除することがあります。また、予告なしにソーシャルメディア自体の運営を中断または中止することがあります。
- (4) 校友会公式ソーシャルメディアに掲載されている情報(内容、商標、標章、ロゴマーク、画像、音声等を含む)に関する一切の著作権、商標権、その他の知的財産権は、原則、校友会に帰属します。また、無断で、私的利用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、複製等することを禁止します。
- (5) 校友会公式ソーシャルメディアのご利用に際しては、日本工学院専門学校校友会ソーシャルメディアポリシー「基本ポリシー」および「ご利用の皆様へ」を遵守してご利用くださいますようお願いいたします。

## 「校友会ラウンジ」利用規定

### 1 利用資格

- ① 日本工学院専門学校校友会会員および準会員。  
ただし、準会員のみでの使用は出来ません。準会員が利用を希望する場合は、教職員が責任者となり、一切の管理責任を負っていただきます。
- ② 校友会会員が代表者または責任者である団体・グループ。
- ③ 学校法人片柳学園の教職員。
- ④ 日本工学院専門学校校友会会長が認めた者および団体・グループ。

### 2 利用目的

会議、待ち合わせ、親睦会など様々な目的で使用できますが、目的によっては、校友会事務局の判断でお断りする場合があります。  
ただし、利益を得ることを目的とした事業ならびに政治活動・宗教活動を伴う集会には利用できません。

### 3 校友会ラウンジ概要

○面積：約 116㎡ ○定員：40名  
利用可能な設備：プロジェクター(パソコン・DVD接続可)、スクリーン、ホワイトボード、DVD、冷蔵庫、電気ポット、急須、湯飲茶碗。  
設備の利用については、無料です。

### 4 利用時間

平日 10:00～17:00  
学校が休みの時には、利用できません。  
利用する場合は2週間前までに校友会事務局に届け、校友会事務局の承認を得なければなりません。また、校友会行事のある場合はこれを優先といたします。  
上記時間以外の利用に関しては、校友会事務局にご相談願います。

### 5 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、校友会事務局にE-mail、FAX、郵便等でご提出願います。先着順で申し込みを受け付けます。ただし、校友会行事等を優先とさせていただきますため、使用をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

●申込用紙は校友会事務局  
☎03-3732-8183  
にご請求いただくか  
ホームページをご覧ください。  
<http://www.kouyukai.net/>

「校友会について」より校友会ラウンジ利用規定及び使用申込(PDF)をダウンロードしてください。

## かまた題字作家紹介

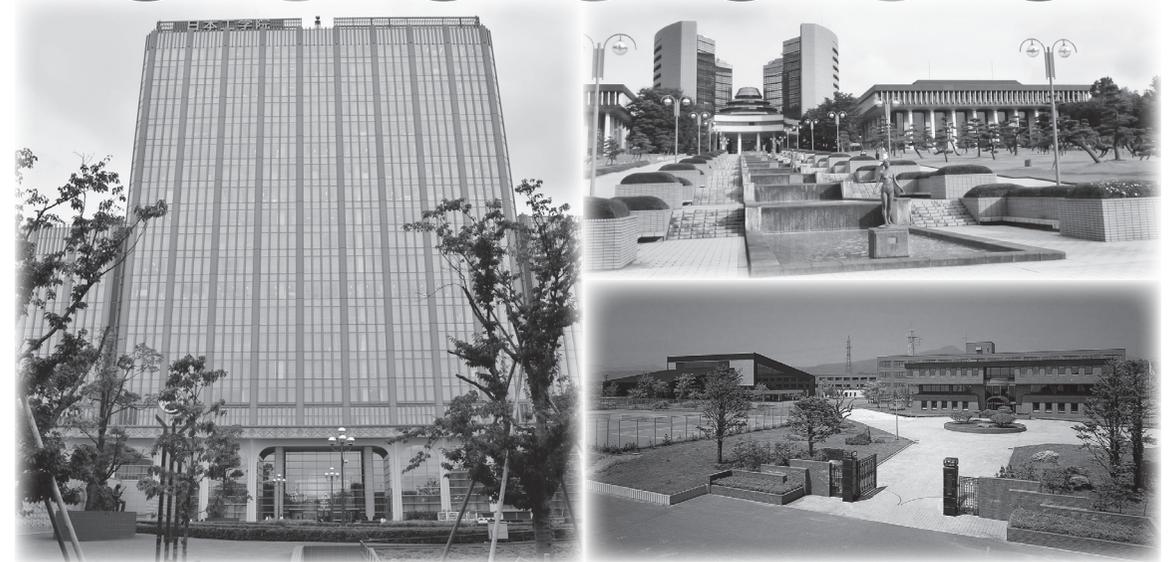


本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銑介(セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校6号館東側に流れる呑川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型染塗の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院校友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。

## 芹澤 銑介 先生 略歴

- 明治28年(1895) 静岡市に生まれる。
- 大正5年(1916) 東京高等工業学校図案科卒業。
- 大正14年(1926) 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一転機となる。
- 昭和3年(1928) 沖縄紅型に感銘を受ける。
- 昭和6年(1931) 雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。
- 昭和7年(1932) 国画家会員・川端康成「雪国」装幀。
- 昭和9年(1934) 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。
- 昭和13年(1938) 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型の技を受ける。
- 昭和20年(1945) 型染めカレンダー創始。
- 昭和24年(1949) 女子美術大学教授となる。
- 昭和31年(1956) 型染塗で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。
- 昭和38年(1963) 大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。
- 昭和41年(1966) スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果たす。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。
- 昭和51年(1976) 文化功労者となる。フランスの国立グラン・パレ美術館において「芹澤介展」開催。
- 昭和58年(1983) フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。
- 昭和59年(1984) 4月5日死去(享年89歳)。

# 入 学 金 免 除 制 度



学校法人片柳学園の設置する学校(日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、東京工科大学)卒業生子女、兄弟姉妹および孫又は在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。

該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に書類と共に提出してください。

兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教育・学生支援部へ申請し、手続きを行ってください。

※「入学金免除申請書」の受付は、2023年3月31日(金)までとします。

## 個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ◆校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ◆会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会に関する目的(校友会誌「かまた」並びに「校友会会員の集い」の案内・議事録の発送、出欠の確認、学校法人片柳学園からのお知らせなど校友会が認めた業務)のみで使用いたします。また、会員に対する校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ◆校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
- ◆個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
- ◆会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ◆校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

### 「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の  
「各種資料請求用紙」にて請求

教育・学生支援部より  
「入学金免除請求書」を送付

必要事項を記入・押印

出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送



### WEB

日本工学院専門学校ホームページ  
(www.neec.ac.jp)

画面右側、「卒業生のみなさま」

入学金免除制度説明ホームページ  
(www.neec.ac.jp/entry/graduate/exemption)  
PDFファイルにて  
「入学金免除申請書」をダウンロード

必要事項を記入・押印

出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送

～会員近況メッセージ～

# お元気ですか？

全国から、海外からこの約2年間（2020年8月～2022年6月）に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況報告。

思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり…。

このコーナーが、そのような温かい出会いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。



氏名(旧姓)／住所(都道府県)  
学科／期の順で表示しています。  
【順不同】 ※イラストはイメージです

菅沼 和明	東京都
情報処理科	第23期生

2018年1月22日(月)に、病気療養のため会社を退職しました。2020年現在、体調は落ち着いており就職活動中です。60才の病み上がりで、通院中のおじさんを雇ってくれる会社は、なかなか見つかりません。

鍋島 亜裕子(旧姓：羽間)	東京都
OAシステム科	第3期生

全国コミュニティ、FM63局で放送しているラジオ番組「Radio Leader's」の企画・運営や、株式会社ミュージックバードと共同企画のプレゼントサイト「ミュージックバードプレゼントステーション」の運営、また、世界的ミスコン「ミス・グランド・ジャパン」の運営もしております。

工藤 智美(旧姓：脇山)	岩手県
音響芸術科	第15期生

卒業後少しだけ業界にいましたが、回りまわって今は看護師をしています。けれど、工学院時代の友達は今でも友達。“The 青春時代”だったかもしれません。Dr.Xを見るたびに「懐かしいなあ、でも私の時代はあんな立派じゃなかったなあ」と思いながら見えています。



会沢 昭則	埼玉県
電子工学科	第46期生

年に一度、人間ドックの際に工学院通りの先の病院へ行く時に行くくらいになってしまいました。

高橋 篤司	宮城県
有線通信工学科	第5期生

定年退職を機にバイクで日本一周を致しました。また、サーキットランに挑戦しております。

楠田 勝	東京都
映像メディア工学科	第38期生

サービスエンジニアとして働いています。

川俣 美佳(旧姓：丸山)	埼玉県
情報学科	第52期生

一旦地元に戻りましたが、結婚して関東に戻ってきました。CD52期、城南寮のみなさん、お元気ですか？蒲田にはたまに行きますので、ご飯にでも行きましょう。

広井 利英	東京都
音響メディア科	第17期生

卒業して20年以上、、、現在は全く異なる仕事をしています、元気にしています！今でもライブが大好きで花好君とよく参加しております。

上倉 克彦	神奈川県
情報処理科	第31期生

情報処理科31期13組(昭和63年)卒の皆さんお元気ですか。私は文具商品の製造に携わっています。

平林 春樹	千葉県
マルチメディアアート科	第4期生

今年はコロナの影響で学園祭が無く、最近の学園の姿が見れなくて寂しいですが、来年の開催を楽しみにしております。今は千葉で元気に生活しています。

澤 宏明	東京都
コンサート・イベント科	第5期生

岡山県は10代まで居て、現在は結婚して東京で3人家族です。

高橋 楓	山形県
放送・映画科	第39期生

地元のドラッグストアの店長代行として働いています。こんなご時世ですが、少しでも皆様の健康のお役に立ちたいと日々頑張っています。世の中が落ち着いたら皆様に会いたいです。

金子 博秋	千葉県
放送・映画科	第37期生

片柳鴻先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

佐藤 輔	千葉県
音響芸術科	第38期生

全国を回って仕事しています。

山岸 美沙樹(旧姓：井田)	東京都
インテリアデザイン科	第7期生

令和元年に結婚し、現在都内に住んでいます。今は、オフィスの空間デザインを手掛ける会社でCADオペレーターとして働いています。(リモート勤務が多いです。)



渡辺 一雄	東京都
放送制作芸術科	第5期生

かまた誌56号を拝読いたしまして、故・片柳鴻先生の本校設立への思いと教育への信念が強く伺えました。今後も先生の理念を守り、更なる母校の発展を遂げていって下さい。

新里 光宏	沖縄県
放送制作芸術科	第6期生

40年前の1980年当時の放送制作芸術科に入学。卒業後は放送業界へ。途中、演劇界も“かじり”今59歳。同期の皆さんお元気ですか？

奈良 恒雄	神奈川県
研究科	第29期生

昭和36年3月テレビ研究科29期卒業。植木の手入れと、毎年「ざる菊」を庭続きの畑に植え、長寿会の方々と近所の人に来てもらい、花見会をしています。

池田 和成	神奈川県
メカトロニクス科	第2期生

私、日本工学院 メカトロニクス科卒業以来34年間、機械設計業で生計を立てております。

高木 勝行	神奈川県
メカトロニクス科	第11期生

新卒で入社した会社で今も元気に働いております。メカトロニクス科が廃科となり残念です。

藤波 雅人	神奈川県
情報処理科	第39期生

現在、ディーラーニングワークステーション、サーバーの営業をしています。コンピュータの基礎を学べた事が今になって活かされています。

三関 慎一郎	埼玉県
情報処理科	第29期生

日本工学院卒業後、日本特許情報機構(Japio)に就職。特許庁で使うコンピュータプログラムを制作。今はサーバサイドスタジオを経営しています。Twitterで検索してみてください。

板倉 夏奈子	神奈川県
情報処理科	第46期生

自然いっぱい地元横須賀で今も暮らしています。娘は4歳(♡v♡)パソコンの勉強したにも関わらず…苦手なまま。娘の方がゲームにケイタイ、巧みに使いこなしてます！尊敬(笑)

須藤 勝	千葉県
情報処理科	第31期生

卒業時に就職したIT会社にて頑張っています。

井上 千里 (旧姓：小泉)	群馬県
情報処理科	第31期生

元気に主婦業にいそんでおります。

林 聖	東京都
情報処理科	第23期生

昭和55年3月に卒業した情報処理科23期の同級生8人が各地より集まり蒲田～熱海の還暦旅行を2020年2月23日～24日に行いました。写真はこちら<http://img.gg/P1NZfu8>

松本 慶一郎	神奈川県
情報処理科	第30期生

入学・卒業して良かったです。社会に出てとても役に立っています。ありがとうございました。

磯村 良夫	神奈川県
ソフトウェア科	第12期生

72歳になりました。おかげさまで元気に過ごしております。貴学校の益々のご発展を祈念いたします。

井上 清一	愛媛県
放送技術部	第8期生

晴耕雨読、土日は船釣り、余生を楽しんでいます。



安並 克磨	東京都
電子工学科	第28期生

通学時から卒業の現在も同じところに住んでいます。仕事も変わらず、音楽の仕事をしています。

郡 直彦	東京都
放送技術部	第12期生

25年前に同期生に勧められてホームページ作りを始めました。懲りずに飽きずに今も続けております。<http://www.nk-teres.net/>

佐藤 光夫	東京都
電子工学科	第26期生

現在は設備関係のパートをしています。2020年で70歳、古希を迎えましたが、コロナの中でのお祝いが出来ず残念です。学生の方も大変ですが、コロナに負けずに勉強を頑張ってください。最後に、片柳先生のご冥福をお祈り申し上げます。

塩沢 昭雄	神奈川県
電子工学科	第41期生

40年勤務したNTTを退職して、今は契約社員として仕事をしています。

新保 裕規	新潟県
電子工学科	第48期生

某電器メーカーに就職し、今は神戸で単身頑張っています。

丹 幸治	埼玉県
電子工学科	第34期生

既に定年退職し、現在は電気主任技術者及びエネルギー管理者として、さいたま市の公共施設で元気に充実した第二の人生の日々を送っています。



杉山 一郎	東京都
電子工学科	第50期生

2019年の年末からSAP関連の仕事をしています。

北田 隆紀	滋賀県
電子工学科	第52期生

現在、パナソニック(大阪)で元気に働いています。

石田 辰雄	新潟県
放送技術部	第1期生

校友会誌No.56特別号の主な出来事20ページに記載されています1959(昭和34)年9月、運輸省航空局の依頼により…放送技術部1期生が三越の航空展覧会々場にテレビ実況中継し、大成功をおさめました。と記載してあります。その中継に携わりました。大型中継車には「日本テレビ技術専門学校」と大きく記載されていました。カメラはイメージオルシコンテレビカメラ装置、レンズも単眼でした。中継装置も大きく電波の方向合わせと、真空管で、保守が大変な事を思い出していました。卒業後、就職に大変役に立ちました。

浜中 孝	千葉県
環境工学科	第19期生

相模原→金沢八景から千葉工場に転勤しています。頑張ってます。

宮下 浩一	東京都
公害工学科	第8期生

2020年6月に引っ越しました。8月に60歳になり、定年を迎えます。みなさんはお元気でしょうか？

石丸 慶子 (旧姓：高野)	東京都
環境科学科	第26期生

環境分析の仕事をしています。同期の皆さんお元気でしょうか。学校の近くに用事があり、新校舎のそばを通りました。お世話になった先生方もほとんど退職されてしまったようで少し寂しかったです。

佐藤 理恵	埼玉県
音響芸術科	第13期生

音響・照明会社で3年働き、裏方から演者に転身。21年間踊っていました。今は違う仕事をしていますが、身体はまだまだ動けます！

鈴木 柔弥	神奈川県
マンガ・アニメーション科	第13期生

結婚しました。来年は子供が産まれます。



鳥山 芳法	千葉県
情報技術科	第9期生

片柳先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。御校で学んだ事は今でも生きております。ありがたいことです。

森 純子	東京都
OAシステム科	第4期生

約20年ぶりに引っ越しをしました。久しぶりにいくつか家電製品を買い替えましたが、特に洗濯機の使い方が変わり、四苦八苦…。技術革新のスピードにすっかり置いていかれてます…。

江口 雄士	新潟県
公害工学科	第6期生

退職し、鹿兒島から実家新潟へ帰ります。校友会誌No.56の近況メッセージに同級生が載っていました！皆、元気？ 田村・植松・サクセス、数名会いたいね！

吉原 道登	山口県
サービス技術科	第11期生

はや69歳です。年金生活です。普通の生活が出来て幸福です。

小島 和雄	埼玉県
サービス技術科	第17期生

初孫がもうすぐ4歳になります。

神戸 克知	埼玉県
サービス技術科	第26期生

卒業して40年、今は地元の企業にて、孫の小遣い稼ぎのためパートに明け暮れる日々を送っています。

梶谷 一男	愛媛県
サービス技術科	第13期生

昭和39年集団就職にて上京。高校・高専・本校サービス技術科の夜学と合計8年東京で過ごしました。卒業後に帰郷。電気工事や電設資材の営業、製氷工場の管理など、本校2年の間の勉強が役立ちました。

小内 一明	神奈川県
情報技術科	第17期生

横浜でのんびりやっています。

生方 美明	神奈川県
電気工学科	第9期生

卒業して40年くらいになります。頑張って電気工事業(個人事業)をしています。

山口 正道	神奈川県
メカトロニクス科	第3期生

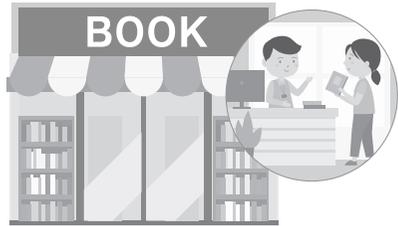
ハワイ大学留学時(1985年)、18歳で、やまちゃん・プレザーマンと呼ばれていました。南町田から本藤沢までT86で通勤しています。土曜日は秋葉原で部品を購入し、人形町の東京マイクロコンピュータカレッジで個別指導で学んでいます。電気工事士の受験が蒲田のホームグラウンドで一発合格できました。3号館・中庭・プレハブ・0号館パン屋が無くなり、時の速さを感じます。

<b>渡邊 富久</b>	<b>新潟県</b>
<b>電気工学科</b>	<b>第4期生</b>

2019年12月に、静岡県から新潟・雪国 小国町へ移住しました。

<b>齋藤 敦</b>	<b>福島県</b>
<b>臨床工学科</b>	<b>第14期生</b>

いわき市で本屋の店長をしています。



<b>長津 聡</b>	<b>東京都</b>
<b>インターネット科</b>	<b>第2期生</b>

頑張って働いています。

<b>渡辺 豊</b>	<b>宮城県</b>
<b>医用工学科</b>	<b>第8期生</b>

転勤のため宮城県に引っ越しました。当面は仙台で臨床工学技士をすることになりました。

<b>加藤 秋之</b>	<b>東京都</b>
<b>CAD設計製図科</b>	<b>第29期生</b>

2019年、日産自動車の子会社に転職しました。車両検査書類の作成業務をしています。車の免許持っていませんが、頑張っています。

<b>金子 秀行</b>	<b>千葉県</b>
<b>臨床工学科</b>	<b>第17期生</b>

看護師資格を取り、千葉県で働いています。父も市内の施設に入所しています。

<b>本江 大</b>	<b>神奈川県</b>
<b>情報通信システム科</b>	<b>第16期生</b>

2019年、品川から横須賀へ移りました。

<b>園田 紀美子</b>	<b>福岡県</b>
<b>音響工学科</b>	<b>第3期生</b>

2019年の1月、OD03の旧友と和倉温泉で会いました。新型コロナが収束したら、またみんなに会いたいです。

<b>藤原 弘伸</b>	<b>広島県</b>
<b>音響芸術科</b>	<b>第1期生</b>

1982年度、音響芸術科を卒業して38年。人生経験をしてきなさいと送り出してくれた父も今年(2020年)亡くなりましたが、この学校生活での経験を糧に家業を頑張っています。

<b>西岡 勇</b>	<b>徳島県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第26期生</b>

2020年1月で薬品会社での定年を迎え、再雇用となっております。IT関係には、ほぼ25年従事いたしましたが、自社開発減少を機に、自身の希望で様々な部署を転々と致しました。現在はサプライチェーン部で間接材の購買を行っております。大きなビジネスでの、交渉の掛け合いには面白さを覚えています。

IT系での再就職も考えましたが、今やJAVA、python等のWeb系が主流で、最も得意とするRPGやLANSA等の手続き向き言語の需要は…。

技術は変われど、工学院で学んだロジックやシステム思考は、まだまだ健在と自負する今日この頃です。

人生未だ何があるか分かりません。前向きに進んで参ります。今回は34年振りの新築での住所変更でした。今後とも宜しくお願いたします。

<b>室井 勉</b>	<b>茨城県</b>
<b>環境工学科</b>	<b>第11期生</b>

早期リタイアして、縁もゆかりもない田舎に家を建て、やっと定住しのんびりしてたのに、なぜか同じ会社でまた働いています。ご時勢から「激務」にはなっていないけど、世間よりは休みも少なく頑張っています。加齢によるのか、ブランクの影響なのかはわかりませんが、無理は効かなくなって徹夜でもしようものなら翌日はへろへろ状態です。ご同輩は元気に働いてるでしょうか？

<b>福田 京一</b>	<b>長野県</b>
<b>電子工学部</b>	<b>第24期生</b>

片柳先生がお亡くなりになられたとのこと、校友会誌で知りました。私の人生にとって大きなきっかけを作っていただきましたこと、50年経った今でも、先生の御恩は忘れません。ご冥福をお祈り申し上げます。

<b>水谷 伸哉</b>	<b>三重県</b>
<b>サービス技術科 第29期 / メカトロニクス科 第1期</b>	

サービス技術科29期を卒業後、新設されたメカトロニクス科1期に再入学・卒業してから38年が過ぎました。

サービス技術科の2年間は横浜の青砥寮から、メカトロニクス科の2年間は西蒲田にアパートを借りて通学した事、1982年と1984年にはハワイ大学夏季留学に参加した事が懐かしく思い出されます。これからも校友会誌「かまた」において日本工学院の様子が見られるのを楽しみにしております。

<b>澤入 善信</b>	<b>静岡県</b>
<b>サービス技術科</b>	<b>第17期生</b>

内之倉健吾君、覚えているかい？ 自分も静岡でもう少し現役で頑張るつもりです。いつか会える日を楽しみにしています。

<b>児玉 信貴</b>	<b>福島県</b>
<b>メカトロニクス科 第3期 / 情報処理科 第33期</b>	

メカトロニクス科と情報処理科を卒業して、IT業界で約26年間勤め、2021年5月に福島県猪苗代町へ墓守のため移住しました。8月に仕事も見つかり、これから頑張っていこうと思います。

<b>成毛 雅彦</b>	<b>埼玉県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第20期生</b>

定年後再雇用していただいています。

<b>草薙 幸弟</b>	<b>神奈川県</b>
<b>カラー科</b>	<b>第19期生</b>

55年生活した千葉県習志野市より神奈川県へ引っ越してきました。電気店を経営していました。学校で教わった事が役立った半世紀でした。

<b>井川 佳一</b>	<b>千葉県</b>
<b>公害工学科</b>	<b>第3期生</b>

2020年6月7日に65歳の定年で、勤務していた会社を退職しました。今はアルバイトで週3日程働いています。

<b>水島 洋一</b>	<b>東京都</b>
<b>映像メディア工学科</b>	<b>第38期生</b>

イツコムという会社で技術系の仕事をしていますが、コロナ禍で月の約8割がテレワークとなりました。



<b>中村 文彦</b>	<b>岐阜県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第43期生</b>

名古屋市に本社を置くIT企業を経営しています。

<b>平瀬 泰助</b>	<b>神奈川県</b>
<b>音響工学科</b>	<b>第7期生</b>

音響工学科を卒業しましたが、卒業後は実家の家業であった地場建設会社に入り、現在は役員となっています。建設業界は慢性的な人手不足であり、わが社も常に人材を探しているような状況です。

<b>野本 正義</b>	<b>神奈川県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第28期生</b>

前職、電気メーカー早期退職後、現在は資格取得し、高齢者対応の業務に就いています。コロナに負けることなく皆様も頑張ってください。

<b>水間 康信</b>	<b>宮城県</b>
<b>環境工学科</b>	<b>第17期生</b>

東京で14年ポンプ場の設計に携わり、地元へ帰ってかんがい用水を管理する団体で、ポンプ管理と、なぜか会計事務をしています。簿記の勉強中です。

<b>田澤 正志</b>	<b>神奈川県</b>
<b>テレビ放送技術科</b>	<b>第33期生</b>

茨の道でも我が人生! みんな元気? 命は大切に!

<b>富樫 優里奈 (旧姓：天渡)</b>	<b>神奈川県</b>
<b>声優・俳優科</b>	<b>第33期生</b>

卒業から10年経った今も声優・ナレーター業を続けています。細々とはありますが、今後も長く声優業を続けていけるよう、一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。



<b>松戸 優</b>	<b>千葉県</b>
<b>情報処理科三年制</b>	<b>第7期生</b>

久しぶりに日本工学院のHPを見て、懐かしくなったので登録してみました。卒業から20数年経っていますが、蒲田もだいぶ変わってしまったようでびっくりです。

<b>野村 真也 (旧姓：高橋)</b>	<b>神奈川県</b>
<b>CAD設計製図科</b>	<b>第15期生</b>

当校を卒業後、今の会社に勤め早や三十数年。十年前に設計から知財担当へ。子供3人にも恵まれ、忙しくも楽しい毎日を過ごしています。

<b>太田 暁子 (旧姓：本宮)</b>	<b>東京都</b>
<b>情報処理科科</b>	<b>第28期生</b>

同期の皆さんはお元気になっているでしょうか？ 私は終の住処を建てる事が出来、楽しく過ごしています。

<b>田尾 英治</b>	<b>福岡県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第45期生</b>

私は現在、福岡空港に勤務しています。昭和59年の電子工学科を卒業しました。日本工学院の講義はシステム化されていて大変良い授業でした。私は第1級陸上無線技術士や工事担任者の資格も取得しました。放送局など技術スタッフとして、どこか再就職がないかなと考えている今日この頃です。

<b>山田 剛志</b>	<b>新潟県</b>
<b>公害工学科</b>	<b>第9期生</b>

定年退職し、ノンビリと過ごしております。

<b>井筒 進</b>	<b>新潟県</b>
<b>公害工学科</b>	<b>第3期生</b>

自分自身が仕事においてリタイアし、昔が懐かしく送ってみました。当時、倶楽部活動も楽しく地下の食堂脇や暗室で楽しく騒いでいたのを思い出します。当時の皆さんは今どんな時間を過ごして居るのか？ 記憶を辿って見たい今日この頃です。学校での教育は人生の中ではとても有意義で有り、今も忘れません。そんな学校でしたよ。

<b>森山 繁浩</b>	<b>茨城県</b>
<b>テレビ放送技術科</b>	<b>第31期生</b>

2020年8月退職しサラリーマン時代の経験を生かしてプログレスルースコンサルティングという組織を作り独立しました。大変なことも有りますがお陰様で楽しく仕事をさせて頂いています。詳細は私の氏名でググってみてください。

<b>横須賀 貞夫</b>	<b>栃木県</b>
<b>放送制作芸術科</b>	<b>第10期生</b>

目指せ！クラフトビールの世界!! 栃木マイクロブルワリーにて、業界研修受付中!



<b>塩脇 雅孝</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第32期生</b>

今年67歳、現役のSEでガンバッテはたらいしています。

<b>西沢 徹</b>	<b>大阪府</b>
<b>研究科</b>	<b>第12期生</b>

2021年8月末で退職しました。46年5か月間、自営系無線局で集中基地局設備の維持管理、大ゾーン方式MCA無線設備の維持管理、普及活動に従事しました。ありがとうございました。

<b>舩形 康人</b>	<b>香川県</b>
<b>放送制作芸術科</b>	<b>第1期生</b>

幻の放送制作芸術科卒業、S.31年生まれ、香川県高松在住でロードバイクやっています。こちらに来られる機会があればライドしよう!



<b>加藤 政己</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第30期生</b>

ホテル ザ セレスティン銀座で電気主任技術者として業務を楽しんでいます。

<b>高橋 則明</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第44期生</b>

只今ブー太郎、第二の人生頑張ります。(2021年還暦です)同期生、元気ですか？

<b>岡本 智之</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第42期生</b>

あと2年で定年を迎えることとなりました。元気なうちに、また蒲田に伺いたいです。

<b>小島 信博</b>	<b>神奈川県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第20期生</b>

(公社) 神奈川労務安全衛生協会にて電気取扱作業特別教育と電気自動車整備士特別教育の講師をしています。同窓生の方は遠慮なく声を掛けてください。

<b>吉川 辰也</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第41期生</b>

電子工学科で学んだ基礎を基に、公共無線設備の製造から保守まで手掛けて、定年退職を迎えました。

<b>石川 欣正</b>	<b>福島県</b>
<b>サービス技術科</b>	<b>第21期生</b>

工学院の恩恵を受けながら、65歳になり仕事を卒業出来ました。これからは、自分時間を趣味と孫との時間にしたいと思います。

<b>大野 博之</b>	<b>岡山県</b>
<b>放送制作芸術科</b>	<b>第5期生</b>

定年退職しました。放芸5期のみんな、元気ですか？

<b>山口 直毅</b>	<b>神奈川県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第31期生</b>

CD31期のみなさん元気ですか？ コロナが落ち着いたら同窓会でもやってみたいですね！ それまでお元気で！

<b>関 俊平</b>	<b>埼玉県</b>
<b>コンサート・イベント科</b>	<b>第23期生</b>

卒業後、オリンピック・パラリンピックに関わらせていただく機会もあり、社会人として成長中です。



<b>向山 誠</b>	<b>香川県</b>
<b>電子工学研究科</b>	<b>第17期生</b>

2021年4月末、60歳定年後の再雇用契約が満了。41年間勤務した会社を退職し、生まれ故郷の香川県に戻ってきました。

<b>高木 勝也</b>	<b>東京都</b>
<b>声優・演劇科</b>	<b>第40期生</b>

卒業して社会人として頑張っています。

<b>鈴木 太作</b>	<b>神奈川県</b>
<b>放送・映画科</b>	<b>第35期生</b>

現在も株式会社テイクシステムズに勤務しています。

<b>南 利幸</b>	<b>岩手県</b>
<b>電気工学科</b>	<b>第14期生</b>

創立者故片柳鴻先生の胸像除幕を心よりお祝い申し上げます。私は70歳間近になります。男子のかわいい孫2歳のジジになり、毎日が楽しく、元気に過ごしています。早くこの校友会の同窓会が再開され、皆で会食できるようになるといいなと思っています。



<b>中川 昭生</b>	<b>千葉県</b>
<b>放送制作芸術科</b>	<b>第2期生</b>

卒業後、日本テレビ・フジテレビのカメラマンとして従事し、現在は独立し、引き続きカメラマンとして日本テレビ「バンキシャ」他報道番組を中心に仕事についています。

<b>古川 嵩</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子計算機部 ソフトコース</b>	<b>第4期生</b>

まもなく78歳。コロナ禍ですが、基本(手洗い、うがい、マスク)を守ってのりきりましょう。

<b>小國 徹</b>	<b>神奈川県</b>
<b>公害工学科</b>	<b>第7期生</b>

2020年4月1日から横浜市立金沢動物園の園長として働いています。2022年3月17日は開園40周年記念日でした。趣味も充実、「口笛とピアノのセッション」「横浜サウンドストリーム」は年間フル活動しています。



<b>村上 敦</b>	<b>千葉県</b>
<b>コンサート・イベント科</b>	<b>第5期生</b>

卒業して20年、今は市原で4才の娘と奥さんと3人で楽しく生活しています!両親の会社(建設業)を手伝っています。

<b>服部 武司</b>	<b>埼玉県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第44期生</b>

2021年7月末で定年退職し、これから自分の好きなことをしようと思っています。まずは家庭菜園に取り組む準備をしています。

岡田 慎太郎	神奈川県
情報処理科	第62期生

Tisシステムサービス株式会社で頑張っております。

赤松 幸吉	神奈川県
電気工学科	第29期生

日本工営(株)にて電源設備のコンサルタントに従事しています。定年まであと少しなので頑張ります。

西銘 武良	沖縄県
テレビ放送技術科	第29期生

沖縄県南城市史跡ガイド(世界遺産の斎場御嶽[せーふあうたぎ]、神の島「久高島」ガイド)をしています。

林 亨	千葉県
情報処理科	第35期生

卒業してから30年近く経ち、入社当時は新入社員だった自身が部を取り纏める立場となりました。最近、学び直して大学院にてMBA取得を目指しています。

松本 政己	大阪府
メカトロニクス科	第2期生

地元では、灸院を営み、10年目となりました。メカトロニクス科で学んだことは発想に役立っています。



大西 俊雄	愛媛県
電気工学科	第15期生

コロナ禍、剣道稽古中にケガをし、手術成功するも副反応で泌尿器手術を余儀なく実施予定しています。全快したならば再び母校を訪問したいと思います。

星月 征男	愛知県
電子工学部	第18期生

令和3年の正月に愛知県支部では支部長の発案でリモート新年飲み会を開催。久しぶりに皆と会談でき、楽しいひとときを過ごしました。

中野 正一	茨城県
研究科	第27期生

当時木造、今は最良なビル、そして多様化するニーズに応え人材の育成に貢献されています。私は今、体のリハビリに努めています。

執行 國雄	福岡県
情報技術科	第12期生

コロナ禍で大変ですが、何とかガンバっています!! 片柳先生が亡くなられてから三回忌・2年経つのですね。100才までは元気でいらっしやんと思っています。かまた祭が懐かしいです。

藤本 真一	千葉県
電子工学科	第46期生

音響/楽器スタートアップだったズーム社を経て、現在は富士フィルム社の「チェキ」の新製品開発のPMを任せていただいています。

豊島 敏弘	愛媛県
研究科	第4期生

オーディオ仲間3人と協力してジャズライブを録音再生して楽しんでます。また、演奏者の要望により、これをCD化し、既に5枚ほど発売されました。この中の1枚がアメリカの公共ラジオ局が行う50位までのアルバム賞の31位に入賞しました。快挙です。



内間 清之	沖縄県
サービス技術科	第23期生

2022年10月に定年を迎え、39年間のサラリーマン生活を終わります。定年後は蒲田巡りに挑戦したいと思います。

石崎 毅鶴	埼玉県
ゲームクリエイター科	第16期生

無事就職し、現在も(株)インディーズゼロにて働かせていただいております。いい所を紹介していただきありがとうございます。

山川 光雄	沖縄県
電気工学科	第19期生

全国的なコロナ禍の中、人口比率で沖縄県から全国ワースト1位となっています。早めの収束を願う今日この頃です。

山外 翼	東京都
放送芸術科	第31期生

日テレZip特集班ディレクターです。先日、小山薫堂賞を頂きました。(濱家さんとの国士舘大にてOlympic体操競技6種目のロケ放送回)

岩崎 義幸	北海道
医用工学科	第5期生

現在、新都市砂原病院に勤務しております。1人臨床工学技士です。

高津 和人	埼玉県
電子・電気科	第3期生

卒業後、10年同じ会社で務めています。また、先日結婚しました。

後藤 有里子	東京都
ミュージックアーティスト科	第17期生

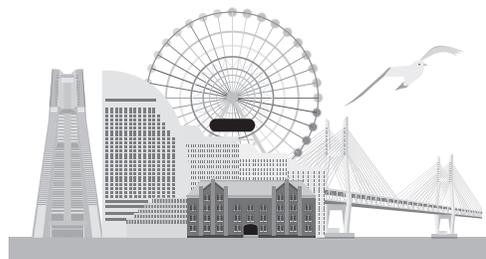
バイトしながらレコーディングやYouTubeの配信をしています。

森 裕貴	茨城県
パソコン・ネットワーク科	第6期生

コロナの影響で世界情勢は大きく変わりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は情シスのコンサル会社に勤務し、日々PCや最新のテクノロジーに触れています。落ち着いた頃に「かまた祭」で一緒に過ごした皆様や担当いただいた先生方とお会い出来ることを楽しみにしています。

島田 晃	神奈川県
情報処理科	第45期生

入籍して横浜へ引っ越しました。同級の皆は元気でお過ごしでしょうか？



小野 雅彦	神奈川県
情報処理科	第29期生

2021年、57歳となりました。現在は障害者施設に勤めております。サビ管資格を取り、実践研修中です。

加瀬 奈穂子(旧姓:川口)	東京都
環境科学科三年制	第6期生

同じクラスだった加瀬君と結婚し、子ども3人と仲良く暮らしています。皆、元気かな～？

飯塚 弘一	神奈川県
電気工学科	第15期生

飯塚電気として仕事を受けて過ごしております。

田村 早紀	東京都
グラフィックデザイン科	第15期生

今年(2021年)出会った人と婚約して、同居をはじめました。来年(2022年)の、初めて会った日付に婚姻届を提出し、プロポーズしてもらった日に、同じレストランで挙式予定です。



柴田 和幸	東京都
電気工学科	第38期生

卒業後、1か所の所で仕事して居ります。

大水 昌則	千葉県
環境工学科	第16期生

単身赴任先の関西から2021年10月に7年ぶりに関東に戻ってきました。

横田 勇	福島県
公害工学科	第4期生

私は現在66歳です。20歳の時入学、夜間の公害工学科PN-4期でした。大変眠かったこと、辛かったことも。実習等は仲間にも恵まれ、楽しい思い出です。ありがとうございました。皆さんお元気ですか？

木戸 隆正	千葉県
放送制作芸術科	第1期生

まだ現役で頑張っています。

<b>長谷川 愛</b> (旧姓：高橋)	<b>埼玉県</b>
<b>コンサート・イベント科</b>	<b>第8期生</b>

高校1年生の長男、中学校2年生の長女、小学校2年生の次女の育児を楽しんでいます。

<b>小原 秀一</b>	<b>岩手県</b>
<b>電気工学科</b>	<b>第15期生</b>

67歳になりました。会社勤め週4日、家の畑で土いじりなど週3日で、田舎らしい暮らしです。東北地方ですが、夏がすごく暑いところです。

<b>外山 健吾</b>	<b>東京都</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第56期生</b>

卒業して入社した会社に勤めて8年目となります。諸岡先生、清水先生にはとてもお世話になりました。また蒲田の近くに行った際はお邪魔いたします。

<b>斎藤 清</b>	<b>山形県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第43期生</b>

現在、電気保安関係の会社に勤務しております。

<b>宮下 祥子</b> (旧姓：古江)	<b>東京都</b>
<b>建築設計科</b>	<b>第8期生</b>

約10年会社に勤めた後、約5年前からフリーランスとして建築CGパース(3D)の制作しております。

<b>香取 照夫</b>	<b>神奈川県</b>
<b>サービス技術科</b>	<b>第13期生</b>

工学院で取得した電気工事士及び無線技士の特技を生かしています。

<b>中村 建太</b>	<b>千葉県</b>
<b>ゲームクリエイター科四年制</b>	<b>第9期生</b>

現在、IT企業に勤めていて、充実した毎日を過ごしています。

<b>石野 祥子</b>	<b>神奈川県</b>
<b>コンサート・イベント科</b>	<b>第23期生</b>

フリーの照明として頑張ってます！



<b>大間知 雅彦</b>	<b>富山県</b>
<b>情報処理科1年制</b>	<b>第23期生</b>

60歳を過ぎるとどこも雇ってもらえず、現在は近所のコンビニで働いています。昨年ヒザを痛めて散々です。

<b>土屋 祥平</b>	<b>東京都</b>
<b>臨床工学専攻科一年制</b>	<b>第9期生</b>

済生会中央病院でMEとして勤務しています。COVID-19が早く終息することを願っています。

<b>伊藤 明</b>	<b>千葉県</b>
<b>テレビ放送技術科</b>	<b>第30期生</b>

JR下総中山の駅前イーヤ(電気店)の社長してます。卒業生と仕事ができれば幸いです！

<b>大塚 康史</b>	<b>神奈川県</b>
<b>音響工学科</b>	<b>第2期生</b>

約40年前にお世話になりました。現在、業務用無線機の業界で頑張っています。益々の発展を願っています。

<b>金子 寛</b>	<b>岩手県</b>
<b>電気工事科</b>	<b>第25期生</b>

昨年から広まった新型コロナウイルスで大変な世の中ですが、令和元年7月に結婚し、夫婦2人で頑張っています。

<b>岩橋 直美</b>	<b>福岡県</b>
<b>放送制作芸術科</b>	<b>第11期生</b>

ようやく小さな家を建て、長く安心して住めるようになりました。皆さんコロナ禍の中、大変でしょうが身体に気を付け頑張ってください。

<b>中村 久雄</b>	<b>千葉県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第20期生</b>

新卒入社しました「富士ソフト株式会社」に60歳定年まで勤め、その後は定年再雇用されており、現在入社43年目、今も元気に勤務しています。

<b>鈴木 大輔</b>	<b>神奈川県</b>
<b>ゲームクリエイター科</b>	<b>第9期生</b>

4月に結婚しました。2匹の猫と妻と4人仲良く暮らしています。テニスが大好きなので運動不足になっています。

<b>武藤 敏一</b>	<b>東京都</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第32期生</b>

先日、蒲田キャンパスに行き、50年前からある校舎の前で、ちょっとたそがれていました。

<b>土屋 義久</b>	<b>静岡県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第44期生</b>

宇宙関連の半導体の技術サポート、販売サポートを行っています。JAXA関連の業務がたくさんあり、やりがいをもって仕事しています。趣味みたいなもので、もう30年近く宇宙関連の業務に携わっています。



<b>松河 克彦</b>	<b>埼玉県</b>
<b>情報処理科</b>	<b>第25期生</b>

2020年、JR東日本を退職して株式会社交通新聞社で仕事をしています。

<b>佐々木 莉菜</b>	<b>千葉県</b>
<b>コンサート・イベント科</b>	<b>第25期生</b>

芸能活動を毎日忙しく楽しくやっております。いつか工学院でもライブしたいです。

<b>佐藤 登</b>	<b>神奈川県</b>
<b>サービス技術科</b>	<b>第11期生</b>

電気工事会社に44年間勤め64歳で定年退職し、今は賃貸業をしています。

<b>松浦 徹</b>	<b>神奈川県</b>
<b>立体製図科</b>	<b>第8期生</b>

立体製図科を卒業して43年、今もリペアパーツ用イラストを作成しています。

<b>鄧 雨婕</b> (トウ ウェツ)	<b>東京都</b>
<b>マンガ・アニメーション科</b>	<b>第18期生</b>

今、アニメ業界で頑張ってます！

<b>兒玉 研一</b>	<b>宮崎県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第27期生</b>

孫9人居ますが、全員が20km以上離れています。妻も27年前に天国に逝ってしまい、独りですが、体は丈夫です。

<b>本多 信義</b>	<b>静岡県</b>
<b>音響工学科</b>	<b>第6期生</b>

卒業後の就職先で代表取締役社長を務め一昨年退職し、自宅で個人事業主として再スタートをしました。

<b>花嶋 昇</b>	<b>千葉県</b>
<b>電子工学科</b>	<b>第26期生</b>

同じクラスだった萩原さん、佐藤さん、杉山さん、山岸さん元気ですか？ 連絡を希います。

<b>木村 康治</b>	<b>香川県</b>
<b>サービス技術科</b>	<b>第16期生</b>

78歳になりました。家電の仕事、電話が来れば、出来ることはポツポツやっています。認知症予防には最適です。

<b>中井 浩訓</b>	<b>神奈川県</b>
<b>電子工学科三年制</b>	<b>第36期生</b>

2002年1月の1陸技に合格後、製造業、構内作業を経て海上コンテナドライバーとして活躍しています。仕事で必要と思われる資格も何件か取得しました。

<b>塩島 純子</b> (旧姓：森村)	<b>東京都</b>
<b>演劇科</b>	<b>第9期生</b>

京急平和島駅前にある高級玉子焼専門店(株)玉幸で働いています。平成21年度「おたの逸品」受賞しました。私は午前中おります。宜しくお願いいたします。

<b>石渡 智也</b>	<b>東京都</b>
<b>建築設計科</b>	<b>第20期生</b>

建築設計科を卒業して早5年、今では一級建築士として都内でマンションの企画と設計をしています。仕事が毎日楽しく、やり甲斐もあり、勉強を頑張ってきて良かったと思います。当時、バドミントン部で部長を務め、団体が全国3位になったのは、今でも良い思い出です。

**会員からのお便りでした! これからも  
たくさんのお便りお待ちしております!**

心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

氏名	卒業年	学科	卒業期	没年月日
青木 弘光さん	1956年	テレビ科	11期	2018年
立川 征珍さん	1956年	研究科	11期	
木田 昇さん	1957年	研究科	14期	2020年11月24日
藤沢 行男さん	1959年	第二学部	26期	2021年
渡慶次 道宣さん	1963年	第一学部	36期	2019年
斉藤 昌典さん	1964年	第二学部	39期	2021年10月
藤山 勝彦さん	1965年	テレビ専門部	05期	
笹本 重雄さん	1965年	テレビ専門部	05期	2021年7月25日
岡沢 政光さん	1966年	放送技術部研究科	06期	
丸山 竹志さん	1966年	テレビ専門部	07期	
桜井 敏行さん	1966年	テレビ専門部	07期	2001年
上野 明治さん	1967年	テレビ専門部	09期	
小坂 周三さん	1970年	テレビ専門部	15期	2020年2月5日
小林 秀治さん	1972年	テレビ工学科	19期	2021年5月18日
豊川 敏雄さん	1973年	テレビ工学科	21期	
三部 康浩さん	1981年	テレビ放送技術科	31期	2020年2月23日
勝又 治仁さん	1981年	テレビ放送技術科	31期	2021年8月10日
菊池 迪明さん	1961年	放送技術部	05期	2018年6月
富田 優さん	1961年	放送技術部	05期	2018年3月16日
富田 喜雄さん	1962年	放送技術部	06期	2020年9月20日
金山 吉雄さん	1962年	放送技術部	06期	2018年
星 弘和さん	1965年	放送技術部	12期	
堀 滋さん	1968年	電子工学部	18期	2020年7月6日
牛尾 隆一さん	1969年	電子工学部	20期	2019年4月13日
須田 惇さん	1970年	電子工学部	22期	2017年5月5日
橋本 巖さん	1972年	電子工学科	26期	
高橋 知廣さん	1973年	電子工学科	28期	
小平 高史さん	1973年	電子工学科	28期	2017年9月30日
石川 和司さん	1973年	電子工学科	28期	2015年3月
中山 克彦さん	1973年	電子工学科	28期	
渡辺 正直さん	1973年	電子工学科	28期	2020年8月
渡辺 一夫さん	1975年	電子工学科	32期	2018年
秋元 恒夫さん	1976年	電子工学科	34期	
谷口 人見さん	1977年	電子工学科	36期	
川口 英昭さん	1977年	電子工学科	36期	
三浦 洋一郎さん	1979年	電子工学科	40期	2018年2月
田中 永二さん	1980年	電子工学科	41期	1984年8月
加藤 淳さん	1980年	電子工学科	41期	2019年
遠藤 幸弘さん	1980年	電子工学科	41期	2009年4月
蛭田 真一さん	1980年	電子工学科	41期	
秋葉 昇二さん	1981年	電子工学科	42期	
三浦 和一さん	1981年	電子工学科	42期	
大野 一好さん	1982年	電子工学科	43期	2019年1月27日
藤田 進さん	1983年	電子工学科	44期	
菅原 完司さん	1983年	電子工学科	44期	2019年
木場 伸一朗さん	1984年	電子工学科	45期	
山下 幸雄さん	1984年	電子工学科	45期	2020年
清水 重貴さん	1985年	電子工学科	46期	2017年
粟田 和久さん	1985年	電子工学科	46期	2016年6月16日
阿部 広一さん	1985年	電子工学科	46期	2016年3月23日
平岡 一行さん	1986年	電子工学科	47期	
沖山 典央さん	1986年	電子工学科	47期	2020年8月21日
園部 共代さん	1987年	電子工学科	48期	

氏名	卒業年	学科	卒業期	没年月日
柿沼 拓さん	1995年	電子工学科	56期	2016年5月26日
中村 三寿さん	1981年	電子工学研究科	18期	2019年11月
近藤 誠一さん	1972年	電気工学科	02期	2021年8月4日
浅川 一直さん	1974年	電気工学科	06期	2018年6月3日
福原 吉隆さん	1977年	電気工学科	12期	
畠中 秀一さん	1977年	電気工学科	12期	
熊谷 政久さん	1977年	電気工学科	12期	
加藤 一也さん	1978年	電気工学科	14期	2021年6月
坂本 友次さん	1979年	電気工学科	16期	2021年3月19日
南雲 義弘さん	1981年	電気工学科	18期	
関根 敏男さん	1982年	電気工学科	19期	2020年9月
内田 賢澄さん	1984年	電気工学科	21期	2021年4月8日
村山 有さん	1987年	電気工学科	24期	
吉田 敦さん	1990年	電気工学科	27期	
池田 康一さん	1993年	電気工学科	30期	2020年7月21日
坂田 徳利さん	1996年	電気工学科	33期	
小林 宏満さん	2001年	電気工学科	38期	
布木 陽一さん	1969年	サービス技術部	05期	2017年10月4日
折笠 正良さん	1971年	サービス技術科	10期	2020年3月
登丸 勇さん	1973年	サービス技術科	13期	2020年9月11日
石山 孝博さん	1973年	サービス技術科	13期	2020年
村尾 俊司さん	1978年	サービス技術科	24期	2021年4月7日
高瀬 淑子さん	1978年	サービス技術科	23期	
富村 栄夫さん	1981年	サービス技術科	27期	2019年
小池 裕さん	1984年	サービス技術科	30期	
酒井 崇さん	1994年	家電電子技術科	40期	
本多 良司さん	1995年	家電電子技術科	41期	2018年11月28日
白戸 義昭さん	1975年	電気工学科	02期	2018年9月9日
佐藤 弘吉さん	1975年	電気工学科	02期	2012年8月
村山 克裕さん	1977年	電気工学科	04期	2020年4月2日
大島 利行さん	1982年	電気工学科	09期	2019年
河原 英雄さん	1990年	電気工学科	17期	2017年
加藤 敬介さん	1990年	電気工学科	17期	2019年6月16日
鈴木 淳史さん	1995年	電気工学科	22期	2018年7月27日
小笠原 純一さん	2000年	電気工学科一年制	28期	2020年1月23日
吉村 厚一さん	1985年	立体製図科	13期	2021年5月24日
深澤 雅史さん	1989年	CAD設計製図科	17期	2020年8月
草野 香葉さん	1994年	CAD設計製図科	22期	2021年7月17日
松本 裕二さん	1975年	公害工学科	02期	
関原 邦夫さん	1976年	公害工学科	03期	2020年8月7日
逸見 昌夫さん	1977年	公害工学科	04期	2021年1月5日
白石 友三さん	1978年	公害工学科	05期	
牧田 幸一さん	1979年	公害工学科	06期	2020年12月
三橋 晃さん	1981年	公害工学科	08期	2020年5月
鈴木 邦靖さん	1982年	公害工学科	09期	2020年9月19日
松橋 元之さん	1984年	環境工学科	11期	2018年3月
親松 秀昭さん	1987年	環境工学科	14期	
千脇 圭二さん	1990年	環境工学科	17期	
中山 貞男さん	1977年	有線通信工学科	02期	2018年5月5日
藤尾 洋一さん	1981年	有線通信工学科	06期	2020年10月
金井 信幸さん	1989年	情報通信科	14期	2012年6月21日
高橋 賢二さん	1985年	メカトロニクス科	01期	2021年2月
新村 禎之さん	1987年	メカトロニクス科	03期	2019年

氏名	卒業年	学科	卒業期	没年月日
齋藤 昇さん	1991年	メカトロニクス科	07期	
天野 正勝さん	1994年	メカトロニクス科	10期	
宮野 涼一さん	1998年	建築設計科	01期	2020年9月
田中 淳さん	1995年	OA科	08期	
田中 寿二さん	1977年	情報技術科	09期	
竹花 保弘さん	1979年	情報技術科	11期	
遠藤 初さん	1986年	情報技術科	18期	2020年7月
今井 正典さん	1971年	電子計算機部ソフトコース	06期	2013年
吉田 一美さん	1973年	ソフトウェア科	10期	
田中(中川)悦子さん	1973年	ソフトウェア科	10期	
牧野 雅昭さん	1974年	ソフトウェア科1年制	12期	
荒井 清一さん	1974年	ソフトウェア科1年制	14期	2019年
須玉 雅貴さん	1978年	情報処理科	20期	2019年12月
中村 好伸さん	1978年	情報処理科	20期	2021年6月5日
中村 伸二さん	1979年	情報処理科	22期	2021年4月
戸村 辰雄さん	1981年	情報処理科	24期	2009年7月17日
戸澤 和彦さん	1981年	情報処理科	24期	2019年11月5日
西沢 治さん	1982年	情報処理科	25期	2019年2月17日
金子 雅明さん	1982年	情報処理科	25期	2012年6月
椎名 政美さん	1983年	情報処理科	26期	2013年9月5日
小豆畑 美佐江さん	1983年	情報処理科	26期	
奥沢 弘幸さん	1984年	情報処理科	27期	2014年7月9日
小林 晃さん	1984年	情報処理科	27期	2021年1月25日
石井 亜紀世さん	1985年	情報処理科	28期	2021年1月
小野寺 斉さん	1985年	情報処理科	28期	2022年3月13日
浅場 暢久さん	1986年	情報処理科	29期	2020年2月23日
丹野 信男さん	1987年	情報処理科	30期	
根岸 儀幸さん	1988年	情報処理科	31期	2019年9月8日
西門 聰さん	1988年	情報処理科	31期	2017年
鈴木 忠弘さん	1988年	情報処理科	31期	
野崎 悟さん	1990年	情報処理科	33期	2021年9月1日
新藤 満弘さん	1990年	情報処理科	33期	2017年11月26日
宮野 忠順さん	1991年	情報処理科	34期	
日比野 功さん	1993年	情報処理科	36期	2020年
田中 正忠さん	1994年	情報処理科	37期	
前山 将哉さん	1996年	情報処理科	39期	
楠本 祥平さん	2005年	情報処理科	48期	2021年4月24日
小林 太さん	2009年	情報学科	52期	2017年
吉澤 康世さん	2000年	情報処理科三年制	09期	2018年
野口 博光さん	1977年	情報処理科1年制	20期	
川久保 敏広さん	1979年	情報処理科1年制	23期	2018年3月6日
石山 裕子さん	1981年	情報処理科1年制	25期	
湯浅 雅夫さん	1982年	情報処理科1年制	26期	
桑原 英樹さん	1985年	情報処理科1年制	29期	
内海 芳夫さん	1985年	情報処理科1年制	29期	2007年

氏名	卒業年	学科	卒業期	没年月日
須藤 良二さん	1986年	情報処理科1年制	30期	
勝沢 一美さん	1979年	放送制作芸術科	03期	2012年
鈴木 清さん	1980年	放送制作芸術科	04期	
内田 裕之さん	1980年	放送制作芸術科	04期	
江口 直弘さん	1984年	映像科	08期	2016年4月8日
石井 民雄さん	1987年	放送制作芸術科	11期	
関(近藤)博美さん	1989年	放送制作芸術科	13期	2019年
田中 敬久さん	1990年	放送制作芸術科	14期	2020年
鎌田 毅さん	1992年	放送制作芸術科	16期	
小林 伸一郎さん	1993年	放送制作芸術科	17期	
三戸 雅明さん	1993年	放送制作芸術科	17期	2018年9月
根末 洋輔さん	1996年	放送制作芸術科	20期	2020年11月18日
水谷 朋子さん	1997年	映像科	21期	
川崎 佑希さん	2009年	放送・映画科	33期	2020年2月21日
大和田(平戸)美津江さん	1977年	映像デザイン美術科	01期	
安西 博延さん	1983年	デザイン科	07期	2016年3月
齊藤 元治さん	1993年	美術科	17期	2011年3月6日
中島 太嗣さん	2000年	マルチメディア科	04期	2020年
金井 朋之さん	2002年	マルチメディア科	06期	
江刺家(高田)理恵さん	1993年	医用工学科	09期	2021年8月26日
中澤 美樹さん	1996年	臨床工学科	12期	
加藤 涼子さん	2003年	臨床工学科	19期	2006年12月30日
鈴木 瞬介さん	2005年	臨床工学科	21期	
吉田 毅さん	2009年	理学療法学科(第二部)	03期	2015年
白石 圭さん	2009年	医療情報科	03期	2014年2月
新倉 勉さん	1980年	演劇科	03期	2019年10月
佐藤 裕記さん	2008年	コンピュータグラフィックス科	03期	2021年春
岡野 伊志樹さん	2014年	ゲームクリエイター科	09期	2021年1月28日
中野 貴一さん	1983年	音響工学科	01期	2016年6月27日
伊澤 昌樹さん	1984年	音響芸術科	02期	2019年8月18日
井上 和也さん	1986年	音響芸術科	04期	
浅野 真司さん	1986年	音響工学科	04期	2021年6月9日
石川 和弘さん	1988年	音響工学科	06期	2021年2月22日
石井 則行さん	1989年	音響工学科	07期	2021年6月13日
塚本 祐二さん	1993年	音響工学科	11期	2020年7月19日
今西 豊さん	1994年	音響芸術科	12期	2020年4月15日
宮崎 幸一さん	1997年	コンサート・イベント科	02期	
石黒 達也さん	1999年	コンサート・イベント科	04期	2021年11月6日
戸澤 深幸さん	2000年	コンサート・イベント科	05期	
吉野 貴美さん	1999年	コンピュータミュージック科	02期	
海老原 幸彦さん	1984年	放送制作芸術科	08期	2022年4月27日
鈴木 登さん	1959年	テレビ専門部	21期	
吉村 哲正さん	1977年	電子工学研究科	14期	2020年8月
工藤 俊一郎さん	1965年	放送技術部	12期	2022年5月22日

学校法人 片柳学園 日本工学院専門学校 校友会誌



No.57

令和4(2022)年8月31日発行

お問い合わせ **校友会事務局** 大西/栗原  
 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL. 03-3732-8183 FAX. 03-3732-1112  
 校友会ホームページ <http://www.kouyukai.net> メールアドレス [kouyukai@stf.neec.ac.jp](mailto:kouyukai@stf.neec.ac.jp)

# 日本工学院専門学校 校友会会員の皆様 VISAゴールドカード 年会費優遇のご案内

三井住友トラストVISAゴールドカード  
年会費がずっと **2,750 円**(税込)  
ご家族会員年会費は、1,100 円(税込)

ロードサービスVISAゴールドカード  
年会費がずっと **3,300 円**(税込)  
ご家族会員年会費は、1,100 円(税込)

年会費優遇は 2 年目以降もずっと継続します

新規ご入会キャンペーン・新規ご入会プレゼント実施中!!

詳しくは同封のチラシをご覧ください  
皆様のお申し込みをお待ちしております

 三井住友信託銀行グループ  
三井住友トラスト・カード

# 日本工学院の 「再入学優遇制度」

日本工学院を卒業後、本校の他学科に再入学をする場合、  
入学金を免除し、また学費も減免いたします。

日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校の2年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科へ再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除および授業料等の減免をする制度です。

日本工学院は、2つの学科の専門知識・技術を習得することで、将来の活躍の幅を広げたい方を応援します。

たとえば…



**対象者** 日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校2年制学科以上の卒業生、  
または当該年度卒業見込みの学生

**条件** 希望する学科の定員に余裕がある場合に限りです

再入学優遇制度内容

選考料	全額免除
入学金	全額免除
授業料	在学中半期ごとに15万円減免(年間最大30万円) ※半期ごとに申請・審査をして決定します

\*「若きつくりびと奨学金制度」「片柳学園入学金免除制度」「留学生奨学金制度」との併用はできません  
\*金額については、再入学年度用募集要項をご参照ください

問い合わせ先

日本工学院専門学校 教育・学生支援部 ☎ 03-3732-1111(代)

日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 ☎ 042-637-3111(代)

## 若きつくりびと奨学金

日本工学院は、社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金(6タイプ)を給付します。  
※対象：2023年度入学生

	プラン	対象者	給付額	定員 <sup>※4</sup>	審査	採用試験(二次審査)日 (申請受付期間)
<b>新卒者</b> <small>(2023年3月高等学校卒業見込みの方 または卒業後1年以内の方)</small> <b>向け</b>	<b>成績優秀者 特待生</b>	次のすべてを満たす方 ・高等学校の学習成績の状況4.0以上の方 ・高等学校3年間の欠席日数が7日以内の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	<b>50万円</b> 1年次後期20万円 2年次前期20万円 ※3 2年次後期10万円 ※3	100名	一次審査 ●書類審査	受験場所：入学希望校 <b>8/20日</b> <small>(2022 7/11~27) ※6</small>
	<b>課外活動 優秀者 特待生</b>	次のすべてを満たす方 ・出席良好の方 ・高等学校の先生の推薦のある方 ・課外活動における優秀な成績を修めた方 <small>(次の①~③のいずれか)</small> ①高等学校文化連盟や体育連盟等所属のクラブ活動の大会で所定の成績を修めた方 ②高等学校が①相当以上と認めるコンテスト・コンクール・大会等で優秀な成績を修めた方 ③本校主催のコンテスト等で上位に入選した方	<b>30万円</b> 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※3  <b>10万円</b> 1年次後期	100名	二次審査 ●筆記試験 (一般常識) ●面接試験 ※5	<b>9/17日</b> <small>(8/22~9/7) ※7</small> <b>10/22日</b> <small>(9/20~10/12)</small>
	<b>資格 特待生</b>	次のすべてを満たす方 ・本校所定の資格を1つ以上取得した方 (難易度によりカテゴリーに分かれます ※2) ・高等学校3年間の欠席日数が15日以内の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	<b>30万円</b> カテゴリー-S <b>20万円</b> カテゴリー-A <b>10万円</b> カテゴリー-B <small>1年次後期20万円 2年次前期10万円 1年次後期</small>	100名	●書類審査 (9/1~ 随時受付)	<b>11/12日</b> <small>(10/17~11/2)</small> <b>1/21日</b> <small>(12/5~2023 1/11)</small>
	<b>就学支援 奨学金</b>	次のすべてを満たす方 ・高等学校の学習成績の状況3.5以上の方 ・高等学校3年間の欠席日数が15日以内の方 ・日本学生支援機構奨学金(貸与型) 予約採用者(予約申込中の方も含む)で世帯年収450万円以下の方 ・高等学校の校長先生の推薦のある方	<b>30万円</b> 自宅通学者 <b>42万円</b> 自宅外通学者 <small>1年次後期20万円 ※4 2年次前期10万円 1年次後期20万円 ※4 2年次前期22万円</small>	100名	●書類審査 (10/3~ 随時受付)	<b>2/11日</b> <small>(1/20~2/1)</small> 受験場所：本校以外 ※8 <b>9/3日</b> <b>4日</b> <small>(2022 7/19~8/19) ※6</small>
<b>既卒者</b> <b>向け</b>	<b>再進学 特待生</b> <small>再チャレンジ応援 学習直し優遇制度</small>	●高等学校を卒業した方 ●本校以外の専門学校を卒業した方 ●短期大学を卒業した方 ●大学を卒業した方 ●社会人の方	<b>30万円</b> 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※3  <b>10万円</b> 1年次後期	100名	一次審査 ●書類審査 二次審査 ●筆記試験 (一般常識) ●面接試験 ※5	<b>9/11日</b> <small>(8/1~26) ※6</small> <b>11/19日</b> <b>20日</b> <small>(10/24~11/9)</small>
<b>留学生</b> <b>向け</b>	<b>留学生 特待生</b>	●日本語学校在籍し出席率90%以上で、かつ次の①~⑤のいずれかに該当する方 ●日本語学校在籍者以外で、次の①~④のいずれかに該当する方 ①日本語能力試験1級(N1)合格者 ②日本留学試験(EJU) 260点以上取得者 ③BJTビジネス日本語能力テスト(JLRT)で480点以上取得者 ④国内あるいは外国の大学を卒業した方(学士取得者) ⑤上記と同等の能力があると、日本語学校の校長先生が認める方	<b>36万円</b> 1年次後期20万円 2年次前期16万円 ※3	100名	一次審査 ●書類審査 二次審査 ●筆記試験 (日本語能力・作文) ●面接試験	<b>9/17日</b> <small>(2022 9/1~7)</small> <b>11/12日</b> <small>(10/17~11/2)</small> <b>1/21日</b> <small>(12/5~2023 1/11)</small> <b>2/11日</b> <small>(1/20~2/1)</small>

※1 高等学校卒業生、文部科学省高等学校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校3年以上修了者、本校校長が認める学校を卒業した方。  
 ※2 対象資格は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。  
 ※3 2年次の給付可否は、入学後の各学期での学業成績(上位1/2以上・出席率90%以上)等による継続判定のうえ決定します。  
 ※4 定員に達し次第、締め切ります。  
 ※5 オンラインエントリー・オンライン出願と同時に申請する場合、面接(面談)は対面となります。  
 ※6 総合型選抜(AO入学)エントリーの方のみ対象。  
 ※7 総合型選抜(AO入学)エントリーの方、既卒の方のみ対象。  
 ※8 開催地は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。

**注意事項**  
 ●奨学金は、学業・人物ともに優秀な方を対象とします。  
 ●奨学金給付審査料は無料です。ただし、学校推薦型選抜(推薦入学)、一般選抜(一般入学)、総合型選抜(AO入学)の選考料は、二年制学科 20,000円、三・四年制学科 25,000円です。  
 ●審査により採用・不採用を決定します。  
 ●給付方法は、学費納入金からの減額です。  
 ●休学または退学等をする場合は、給付額を返還していただきます。  
 ●本校の他の特待生制度および再入学優遇制度との併用(併給)はできません。片柳学園入学金免除制度、日本学生支援機構や民間団体等の奨学金制度との併給は可能です(「就学支援奨学金」のみ日本学生支援機構の給付奨学金との併給はできません)。  
 ●申請方法・その他の詳細は、「若きつくりびと奨学金要項」でご確認ください。

## 「教育訓練給付金」のお知らせ (授業料 最大70%給付)

「教育訓練給付金」とは、労働者が自ら受講費用を負担して一定の教育訓練を受けた場合に、厚生労働省がその費用の一部を支給するもの。  
 日本工学院では、資格試験の受験率・合格率、就職・在職率などの基準を満たしたとして、現在下記の学科・コースが認定されています。  
 あなたのキャリアアップを国が支援する制度を、ぜひご活用ください。

対象学科・コース	
日本工学院専門学校	
放送芸術科 カメラマンコース	音響芸術科
放送芸術科 照明コース	電子・電気科 電気工学コース
日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	電子・電気科 電気工学コース
情報ビジネス科	電子・電気科 電気工事コース
ネットワークセキュリティ科	土木・造園科
ロボット科	鍼灸科

### 支給対象

受講開始前までに通算2年以上の雇用保険の被保険者期間のある方  
 (これまで教育訓練を受けたことがある方には別の条件があります)

### 支給内容(専門実践教育訓練)

支給額上限=40万円/年(受講後1年以内に資格取得をし、就職した場合56万円/年)  
 支給期間=原則2年(資格につながる場合は最長3年)

### 申請方法等 詳細は

厚生労働省ホームページ(教育訓練給付制度について)または、  
 ハローワークインターネットサービス(教育訓練給付)をご覧ください。

日本工学院専門学校  
 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎03-3732-1111

日本工学院八王子専門学校  
 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎042-637-3111

<https://www.neec.ac.jp/>

若きつくりびとへ。  
**日本工学院**  
 日本工学院専門学校  
 ☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22  
 日本工学院八王子専門学校  
 ☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジカレッジ スポーツ・医療カレッジ

●URL <https://www.neec.ac.jp/> ●Eメール [info@stf.neec.ac.jp](mailto:info@stf.neec.ac.jp)

若きつくりびと  
**奨学金要項**  
 のご請求は、  
 左記フリーダイヤル  
 まで。